

平成27年度
事業報告書



社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会

うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとり一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等で対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

平成27年度事業報告

社会福祉協議会は、社会福祉法に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と規定されています。

本会では、法の規定の趣旨に基づいて、高齢、障害、児童等の制度のくくりからの視点ではなく、ひきこもり、社会的孤立、貧困等様々な暮らしの課題（困りごと）の視点から福祉を捉え、その解決には一貫して「住民主体」を理念に、住民の立場から地域の組織、当事者（組織）、ボランティア（団体）、行政・専門機関等の多職種と連携・協働して地域福祉の推進に取り組んで来ました。

このような中、急速な少子高齢化を背景として4月に改正介護保険法が施行され、「地域包括ケアシステム」の構築に市町村の役割が重要となったのに合わせて行政施策への住民参加による創意工夫こそが福祉サービスの鍵を握ることになりました。

この地域包括ケアシステムについては、過年度に於いて、「福祉のまちづくり」の視点から市民を対象に学習会（連続講座）を重ねてきたところです。その上で、4月には、市から新規に「生活支援コーディネーター」配置による「生活支援・介護予防の体制整備づくり」の一端を受託することになり、これまでの福祉のまちづくりの基盤の上に不足するであろう新たな住民参加型サービス等社会資源の企画開発等による地域包括ケアシステム構築の一端を担うこととなりました。

この地域包括ケアシステムは、これまで培ってきた福祉のまちづくりとも重なることから、27年度は、地域福祉の推進を図るに当たって、市保健・福祉・コミュニティ支援部門等とこれまでの事業の整理・調整と今後の連携のあり方について協議を開始し、次年度も引き続き協議を行うこととしました。

また、浮羽医師会とは、包括ケアの充実に向け、福祉・介護の連携強化勉強会を始め、市内社会福祉法人には、全7法人の参加の下、地域公益活動（社会貢献活動）の研究活動がなされ、次年度試行へつながることとなりました。

そして、地域包括ケアシステムを進めるに当たって、その土台となる地域の絆、家族の絆を温め大切にする土壌づくりには、自治協議会の「協働のまちづくり活動」と「福祉のまちづくり活動」の連携強化は不可欠であり、この連携強化を図る観点から、ふれあいセンター・自治協議会福祉部に対する助成金の充実を行うと共に担当職員が地区（校区）の責任者・担当者との密な連絡・連携を図るなどの充実に努めました。

地域住民の地域包括ケアシステムの理解と参画促進の観点からは、『地域包括ケアシステムとは？』『高齢や障害等を問わず、最期まで誰もが安心して暮らせる地域・うきは市とはどんなかたちの？』『私たちはどうすればいいの？』…これら私たちの周りに漂っている素朴な疑問を解いていく作業として、8月には、うきは市との共催により、地域のリーダー、ボランティア、医療・福祉関係者等にお集まり頂き、勉強会として“支えあいのまちづくり講座”を開催しました。その後12月には、さわやか福祉財団を主催に加え、一般市民を対象に“支えあいのまちづくりフォーラム in うきは”を開催し、中央情勢やうきは市内の活動者によるパネルディスカッションなどにより、端緒としての理解を図ったところです。

また、この際には、地域包括ケアシステムに様々なノウハウを持つさわやか福祉財団を加えた三者の包括連携協定を締結し、地域住民の参加を得て、公助・共助・互助・自助の支え合いによる地域包括ケアシステムづくりを更に押し進めていくこととしました。

平成30年度には、介護保険法、障害者総合支援法関連の制度改正や生活困窮者自立支援法の見直しなど、諸々の制度改正の波がまともりつつあります。これらを見極めながら社協の使命をどう果していくべきかを次年度も引き続き検討していきます。

うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会	28名
執行機関	理事会	12名
監査機関	監事	2名
常設委員会	葬祭事業運営委員会	10名
	献血推進協議会	32名
	契約締結審査会	8名
	貸付調査委員会	9名
	地域福祉活動計画策定委員会	22名
	法人後見審査会	6名
部会	高齢者福祉部会	12名
	障害者（児）福祉部会	13名
	児童福祉部会	13名
	福祉教育部会	12名
	ボランティア部会	11名

役員名簿（平成28年3月31日現在）

役職	氏名（選出区分）
理事（会長）	石井 忠孝（有識者）
〃（副会長）	伊藤 正勝（有識者）
〃（副会長）	岩崎 道代（有識者）
〃	竹下 勲（区長会）
〃	清家 順介（自治協議会）
〃	永井ケイ子（民生委員・児童委員協議会）
〃	川原 佳秀（ボランティア）
〃	堀江 繁樹（ふれあいセンター）
〃	重富 洋子（有識者）
〃	西尾 嘉博（有識者）
〃	手島千佐子（有識者）
〃	後藤真須美（有識者）
監事	小林 誠一（有識者）
〃	河北 和彦（有識者）

常設委員会委員長名簿（平成28年3月31日現在）

委員会名	委員長名
葬祭事業運営委員会	永井ケイ子
献血推進協議会	石井 忠孝
契約締結審査会	國武 雅子
法人後見審査会	梅根真知子
貸付調査委員会	江藤 武夫
地域福祉活動計画策定委員会	伊藤 正勝

部会長名簿（平成28年3月31日現在）

部会名	部会長名
高齢者福祉部会	宮崎 二男
障害者（児）福祉部会	諫山 勝
児童福祉部会	守谷 正剛
福祉教育部会	足立 光二
ボランティア部会	佐藤 隆夫

I 総務企画部門

《総務係・経理係》

1. 法人運営

(1) 【理事会：全9回】 次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

期日 回数	出席 (理事/監事)	議 案
4/28 第111回	11/2	・評議員の選任について ・職員の異動について
5/26 第112回	11/2	・平成26年度事業報告及び収支決算報告の認定について
6/1 第113回	12/2	・会長、副会長の互選について ・職務代理者の指名及び順位について ・役員候補者推薦委員（3名）の互選について ・顧問の委嘱について
7/14 第114回	12/2	・評議員の交代（農業協同組合）について
9/17 第115回	9/1	・部会設置規程の改正について ・指定訪問介護事業所及び指定介護予防訪問介護事業所運営規程の改正について ・指定通所介護事業所及び指定介護予防通所介護事業所運営規程の改正について ・指定認知症対応型通所介護事業所及び指定介護予防認知症対応型通所介護事業所運営規程について ・指定訪問入浴介護事業所及び指定介護予防訪問入浴介護事業所運営規程の改正について ・うきは市、社会福祉法人うきは市社会福祉協議会、公益財団法人さわやか福祉財団の三者包括連携協定について
10/26 第116回	11/2	・うきは市、社会福祉法人うきは市社会福祉協議会、公益財団法人さわやか福祉財団の三者包括連携協定について ・評議員の委嘱同意（交代）について ・地域福祉活動計画策定委員会委員の委嘱同意（交代）について
12/17 第117回	11/2	・平成27年度第1次資金収支補正予算（案）について ・平成27年度歳末たすけあい事業について
1/22 第118回	11/2	・特定個人情報取扱規程の制定について ・会長専決規程の改正について ・職員就業規則の改正について ・嘱託職員就業規程の改正について
3/24 第119回	12/2	・平成27年度第2次資金収支補正予算書（案）について ・嘱託職員の正規職員及び無期雇用への転換について ・職員給与及び退職手当に関する規程の改正について ・平成28年度事業計画（案）について ・平成28年度資金収支予算（案）について ・指定訪問型サービス事業所運営規程の制定について ・指定通所型サービス事業所運営規程の制定について ・平成28年度資金運用計画について

[会場：うきは市総合福祉センター]

(2) 【評議員会：全3回】 次の日程・内容にて評議員会を開催しました。

期日 回数	出席者 出席/総数	議 案	会 場
5/29 第41回	24/28	・平成26年度事業報告及び収支決算報告の承認について ・次期役員の選任について ・役員候補者推薦委員会次期委員の互選（評議員6名）について	うきは市 総合福祉センター
12/25 第42回	19/28	・平成27年度第1次資金収支補正予算について	うきは市 総合福祉センター
3/30 第43回	22/28	・平成27年度第2次資金収支補正予算について ・平成28年度事業計画について ・平成28年度資金収支予算について ・会長専決規程の改正について	うきは市 総合福祉センター

(3) 【監査：全5回】

	期日	監査事項	会場
第1回	5/21	平成26年度決算監査	うきは市総合福祉センター
第2回	7/30	平成27年度第1期監査（4月～6月）	うきは市総合福祉センター
第3回	10/29	平成27年度第2期監査（7月～9月）	うきは市総合福祉センター
第4回	1/27	平成27年度第3期監査（10月～12月）	うきは市総合福祉センター
第5回	3/31	平成27年度第4期監査（1月～2月）	うきは市総合福祉センター

(4) 【会長・副会長会：全15回】

開催日：4/27、5/22、6/1、6/30、7/9、9/17、10/19、12/11、12/25、1/18、1/22、2/17、3/12、3/13、3/18

(5) 【社協会員に関すること】

①住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹川	135 / 158	85.4%	67,500	102	51,000	118,500
新川	113 / 139	81.3%	56,300	49	24,500	80,800
田籠	51 / 59	86.4%	25,500	49	24,500	50,000
小塩	194 / 235	82.6%	96,783	46	23,000	119,783
山春	742 / 876	84.7%	370,800	512	256,000	626,800
大石	677 / 942	71.9%	338,500	464	232,000	570,500
御幸	1,655 / 2,392	69.2%	826,726	822	411,000	1,237,726
千年	574 / 1,637	35.1%	286,510	195	97,350	383,860
吉井	1,026 / 1,630	62.9%	511,950	256	127,729	639,679
福富	856 / 1,351	63.4%	422,701	116	58,000	480,701
江南	694 / 1,077	64.4%	339,800	92	46,000	385,800
市外				15	7,500	7,500
合計	6,717 / 10,496	64.0%	3,343,070	2,718	1,358,579	4,701,649

※住民会費は一世帯500円、賛助会費は1口500円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

※総世帯数は、区長文書配布数となっています。

②団体会員 年会費5,000円

社会福祉法人両筑福祉会（浮羽学園）
社会福祉法人浮羽コロニー（希望が丘）
社会福祉法人図南会（特別養護老人ホームえびね荘）
社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）
社会福祉法人光の子福祉会（御幸保育園）
社会福祉法人ふたば会（特別養護老人ホーム水月吉井）
特定非営利活動法人みつば会（浮羽共同作業所）
絆データシステム株式会社

(6) 市民（会員）に対する弔意に関すること

うきは市民（社協会員）でお亡くなりになった方へ、社協より弔電をお送りしました。

(7) 職員の技量向上に関すること

職員の技量向上のため、下記のような内部研修を行いました。

	期日	参加者（対象）	内容
第1回	4/21	65名（全職員対象）	第1回職員全体研修 ・平成27年度事業概要説明 ・事業説明と意見交換
第2回	5/13	17名（連携協働推進担当者他・自主）	・サービスプランナー研修

	期日	参加者 (対象)	内 容
第 3 回	6/7	46 名 (全職員対象)	・災害ボランティアセンター設置運営訓練
第 4 回	6/10	66 名 (全職員対象)	・災害ボランティアセンター座学講習
第 5 回	6/15	13 名 (リーダー・現任職員対象)	・職員リーダー、現任研修説明
第 6 回	7/13	20 名 (連携協働推進担当者他・自主)	・サービスプランナー研修
第 7 回	9/10	64 名 (全職員対象)	第 2 回職員全体研修会 ・研修報告 (現任研修、リーダー研修) ・災害ボランティアセンターマニュアル改訂について ・マイナンバー制度について
第 8 回	9/14	16 名 (連携協働推進担当者他・自主)	・サービスプランナー研修
第 9 回	10/7	39 名 (全職員対象・自主)	・人権研修
第 10 回	10/22	26 名 (全職員対象・自主)	・人権研修
第 11 回	11/6	32 名 (全職員対象)	・安全運転講習会
第 12 回	11/10	34 名 (全職員対象)	・安全運転講習会
第 13 回	11/16	12 名 (連携協働推進担当者他・自主)	・サービスプランナー研修
第 14 回	11/18	35 名 (女性職員対象・自主)	・女性職員自主研修
第 15 回	12/4	38 名 (全職員対象・自主)	・在宅医療推進事業 ・先進地視察研修報告
第 16 回	1/13	15 名 (連携協働推進担当者他・自主)	・サービスプランナー研修
第 17 回	2/23	55 名 (全職員対象)	・各課職員研究発表
第 18 回	3/1	26 名 (全職員対象・自主)	・キャリアライフプランセミナー
第 19 回	3/9	40 名 (全職員対象・自主)	・うきは市地域支援事業について ・サービスプランナー研修グループ発表
第 20 回	3/14	9 名 (連携協働推進担当者他・自主)	・サービスプランナー研修

2. 指定管理施設運営事業

(1) うきは市総合福祉センター

うきは市総合福祉センターが施設の目的に従って利用促進が図られるように努めました。
(人)

	開館 日数	一般用貸出室				その他の 部 屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	295	273	5,239	59	659	4,135	10,033
1 日平均		0.9	17.8	0.2	2.2	14.0	34.0
月平均	24.6	22.8	436.6	4.9	54.9	344.6	836.1

3. 福祉車両、福祉用具、遊具の無料貸出 (地域福祉部門との協働)

(1) 福祉用具無料貸出

在宅で介護をおこなっておられる方々を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。福祉用具の点検整備については、老人クラブ奉仕部、ボランティアの協力により行っていただいております。

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	9 5	松葉杖	2
介護用ベッド	9	押し車	8
ポータブルトイレ	3 6	シャワーチェア	7
浴槽台	1	合 計	1 5 8

(2) 福祉車両の無料貸出

普通の車ででの外出移動が困難な方へ、社協の福祉車両を無料貸出しました。(但し、燃料費自己負担)

- ・平成27年度 延利用件数55件

4. 公益事業

「生活の無駄を省く運動」の一環として、昭和51年より葬祭事業を開始。平成16年度にはうきは斎場を建設、斎場葬を実施、平成25年度には家族葬のため別館を新築と駐車場整備を行い、公益事業として誰しも訪れる死に対し、華美な飾り付けや出費をあおらず荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるようにサービスの充実に努めました。

- 利用件数 190件
 自宅・寺院葬 15件
 斎場葬 175件 (本館 94件、和室 14件、別館 67件)

- 委員会・・・次の日程にて委員会を開催しました

	期日	会場	出席者	議題
葬祭事業運営委員会	9/25	うきは総合福祉センター	委員9名	・葬祭事業への意見・提言について
葬祭事業運営委員会	3/4	うきは総合福祉センター	委員8名	・葬祭事業への意見・提言について

《企画調整係》

1. 調査・企画・広報事業

(1) 社協だよりを活用した住民アンケート調査

市民からの声を拾い上げるために、ふくしのかかわら版(6月号、9月号、12月号、3月号)を活用し、郵送形式の意識調査を実施しました。(14通)

また、ホームページにもお問い合わせのページを設けました。(5通)

なお送付いただいた内容については、事務局での検討対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員等と連絡を取り、状況確認と支援をおこないました。

(2) うきは市基本データの集積

うきは市の人口・世帯の増減や高齢率・年少率等の参考データを算出するために、市役所福祉係を介して、情報処理係に依頼し、5月にうきは市基本データを集積しました。

また、「年次調査統計要覧」の作成に伴い、福祉にかかる調査の結果や、人口、人口動態、高齢率等のうきは市勢の状況等のデータを集積しました。

(3) 社協だより「ふくしのかかわら版」の編集発行(共同募金配分事業)

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の福祉意識の啓発に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

(4) ホームページの開設・情報定期更新(共同募金配分事業)

定期広報誌については発行に併せて月2回更新を行いました。また、ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など新鮮な情報を掲載しました。また、動画公開システムにて、手話動画や各社協事業所の紹介動画等を公開し、若い世代への地域福祉活動や社協活動の周知も行いました。

(5) フェイスブック・ツイッターの管理・運営

フェイスブック・ツイッターなどを通して、地域福祉の情報提供や啓発活動を行い、社協活動の見える化を推進しました。

(6) 住民啓発資材(社協名入り入浴剤、各種パンフレット等)

社協の連絡先や相談窓口を啓発するための資材として、入浴剤、ボールペン、クリアファイルなどを作成配布しました。

(7) 広報カーの活用

たすけあい献血活動などを広報するために、社協の広報カーを活用しました。

(8) 行政放送の活用

社協の相談窓口や献血活動などをお知らせするために、市役所防災無線を活用させていただきました。

(9) 福祉座談会の実施

社協活動や地域福祉活動計画、保健福祉動向について、区の常会等にて説明を行い、地域福祉の啓発活動を行いました。(実施回数9回)

4/24 (千年校区区長会)	5/7 (ふれあいセンター大石)	6/16 (御幸通区)	6/25 (東の6区)
9/9 (夏梅沖鶴区)	12/1 (うきは市障害者福祉協会)	2/12 (原口区)	
2/27 (隈の上区)	3/27 (朝田原区婦人会)		

2. うきは市生活支援サービス事業(生活支援コーディネーターの配置)

うきは市地域包括支援センター(市保健課地域包括支援係)と連携し、協議体設置にかかる「市・社協連絡調整会議」を下記のとおり開催しました。参加するメンバーはコアな事務局として、市保健課介護高齢者支援係、包括支援係、社協にて構成していますが、検討内容によっては、市民協働推進課コミュニティ支援係、福祉事務所福祉係、広域連合うきは大刀洗支部にも参加いただきました。

また、下記のとおり研修会をうきは市と共催にて開催しました。

【協議体設置に係る市・社協連絡調整会議開催状況】

	期日	参加者	内容
第1回	5/11	市役所保健課5名 社協3名	1) 協議体の目的、位置づけ、役割、メンバーについて 2) 事務局について
第2回	6/16	市役所保健課5名 福祉事務所1名 広域連合うきは大刀洗支部2名 社協3名	1) 研修会報告 2) 協議体設置要綱について(役割・位置づけの確認) 3) 協議体のメンバーについて
第3回	7/1	市役所保健課4名 広域連合うきは大刀洗支部1名 社協3名	1) ささえあいのまちづくり講座について ①さわやか財団との調整報告 ②対象者の選定 ③打ち合わせについて
第4回	7/10	さわやか福祉財団2名 市役所市民協働推進課2名 市役所保健課3名 福祉事務所1名 広域連合うきは大刀洗支部2名 社協3名	1) うきは市の現状の確認 2) 協議体・生活支援コーディネーターの整理について 3) ささえあいのまちづくり講座について
第5回	8/19	市役所保健課4名 社協3名	1) フォーラムの開催について
第6回	10/9	市役所保健課3名 社協2名	1) 新地域支援事業フォーラムについて (開催の目的、期日・時間の確認、参加対象、フォーラムの名称、今後のスケジュールについて)
第7回	10/24	さわやか福祉財団2名 市役所保健課5名 社協2名	1) 支えあいのまちづくりフォーラム in うきはについて (企画書について、冊子の内容、フォーラムの広報、予算について、今後のスケジュールについて)
第8回	11/11	さわやか福祉財団2名 市役所保健課5名 市民協働推進課1名 社協1名、パネラー3名	1) 支えあいのまちづくりフォーラムパネルディスカッション打ち合わせ
		さわやか福祉財団2名 市役所保健課5名 社協1名	1) 支えあいのまちづくりフォーラムについて 2) 協議体、体制整備事業について
第9回	12/11	さわやか福祉財団2名 市役所保健課5名 社協1名	1) 「支えあいのまちづくりフォーラム in うきは」について ①役割分担、当日の流れ、配置図について ②アンケートについて ③その他

【研修会開催状況】

	期日、会場	参加者	内容
第1回	8/10（金） （うきは市民センター）	100名 （地域リーダー、 保健医療福祉 関係者対象）	支えあいのまちづくり講座 テーマ「新しい地域支援を考える」 講師／公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり氏
第2回	12/20（日） （うきは市民ホール）	320名 （一般市民対象）	支えあいのまちづくりフォーラム in うきは ・包括連携協定調印式 ・基調講演 テーマ／「介護保険制度と地域支援事業について」 講師／厚生労働省老健局総務課課長補佐 服部真治 氏 ・講演 テーマ／「みんなで創る助け合いの社会」 講師／公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力 氏 ・パネルディスカッション 「うきは市を知ろう！」～うきは市発 支えあいのまちづくり!!～ パネラー／ ①うきは市ボラ連会長 川原 佳秀氏 ②吉広区福祉委員 河北 和彦氏 ③地域コミュニティ支援本部 副本部長 古賀 恒徳氏 コーディネーター／さわやか福祉財団 堀田 力 氏 アドバイザー／厚生労働省老健局総務課課長補佐 服部 真治 氏 ・うきは市支え合いマッピング

3. 高齢者等住まい・生活支援モデル事業

12月から市の委託を受け、地域包括ケアシステムの基礎となる「住まい」と「住まい方」を支援する事業として、空き家を活用した住まいに関する相談支援の拠点（吉井町1097番地1）を整備し、高齢者等の住み替えや住宅改修等の相談に応じました。また、事業実施にあたり、うきは市・住宅関係事業者・関係機関等との支援連携協働ネットワークづくりが必要となるため、住宅関連事業者や福祉関係団体等へ事業説明・協力依頼を行いました。今後は、住まいに関するネットワーク構築を進めていき、対象者の住まいにふさわしい物件の開拓、物件情報の共有等を行っていきます。

また、3/5に先進地である豊後大野市住まい生活支援モデル事業（くすのきハウス、常楽荘）の視察研修を行いました。

事業実施にあたり、高齢者の住まいに関するニーズを把握するため、75歳以上の一人暮らし高齢者（589名）、高齢者のみの世帯（340世帯）を対象に、民生委員の協力を得て、アンケート調査を行いました。アンケート結果からも持ち家割合が8割と多く、住み替えニーズは2%と低いのですが、高齢者の要介護状態になった場合の不安は大きく、介護が必要となる前に適切な住まいへの住み替え支援が必要と思われます。また、住み替えで困ったこととして、「家賃などの費用面で希望する住宅がない」との答えが多く、実際の相談の中でも市営住宅等の家賃が安い物件の住み替え希望が多くなっています。今後、住宅事業者等と連携し、高齢者が希望する家賃（3万円程度）の物件の開拓を行っていく必要があります。

なお、相談拠点のつどいの場「かわはらさんち」は、高齢者等のふれあい交流の場として開放し、うきは市出前講座の活用や、地域住民やボランティアのご協力を得てイベントを開催し、多くの方にご参加いただきました。

2/18の開所式には、約80名の方に参加いただき、記念講演として「薬剤師さんのお薬のお話」と、調理ボランティアかりんによるぜんざい会を行いました。

【住まいと住まい方に関する相談実績】

区分	1月	2月	3月	合計	内初回相談 (再掲)
電話相談	1	7	14	22	16
来所相談	0	6	9	15	11
訪問相談	1	1	3	5	2
合計	2	14	26	42	29

【住まいと住まい方に関する相談内容詳細】

※ 1 件の相談で 2 つの相談があれば 2 件でカウント

区分	1月	2月	3月	合計
住み替えに関する相談	1	6	10	17
転宅費用等に関する相談	0	4	1	5
住宅改修に関する相談	0	1	8	9
その他	2	7	11	20
合計	3	18	30	51

※その他の主な相談

- ・仕事の相談
- ・生活上の心配
- ・事業についての問い合わせ
- ・土地の境界線について
- ・引越しの際の家財処分について
- ・金銭管理について
- ・ごみの片付けについて
- ・介護保険サービスについて

【住まいと住まい方に関する相談対応実績】

	1月	2月	3月	合計
関係機関との調整	0	4	4	8
住まいの斡旋・マッチング	0	1	0	1
生活支援サービスの調整等	0	0	2	2
合計	0	5	6	11

【つどいの場利用者数】

区分	1月	2月	3月	合計
75歳以上		28	63	91
65歳～74歳		0	26	26
15歳～64歳		6	6	12
15歳未満		0	0	0
合計		34	95	129
見学者(別掲)		41	7	48

※ 1月は拠点整備のため利用者なし。2/18の開所式の参加者は含んでいません。

4. 社会福祉法人連絡協議会

平成 26 年 11 月 14 日に、うきは市内の社会福祉法人が集まり、地域公益活動についての研究・意見交換を行い、その結果、市内 7 法人で「うきは市社会福祉法人連絡協議会」を発足しました。27 年度から、「共助社会づくり推進のための市町村社協モデル事業」の指定を受け、7 月からは、社会貢献プロジェクト委員会を設置しました。委員会は、各法人から選出された職員 11 名で構成し、日常の仕事の中で把握しているニーズを出し合いながら、地域課題の分析と社会貢献活動の方向性を議論しました。また、1/21 には社会福祉法人東翔会の「地域福祉推進室の設置による社会福祉法人と地域の連携」の取り組みと、社会福祉法人三玉福祉会の「保育園でおこなうふれあいいきいきサロンの取り組み」について先進地視察を行いました。社会福祉法人として、法人職員全体で社会貢献活動に取り組んでいくという意識改革の大切さや、社会福祉法人の社会貢献活動は地域との連携が必要で、地域と一緒に活動することで法人の強みと地域の力が発揮できることを学びました。

28 年度は、4 月に新設予定の 2 法人からも参加希望があり、9 法人でさらに検討を進め、社会貢献プロジェクト委員会の報告を受け、できるところから地域公益活動に取り組んでいくこととしています。

【うきは市社会福祉法人連絡協議会参加法人】

図南会（えびね荘）、ふたば会（水月吉井）、浮羽コロニー（希望が丘）、両筑福祉会（浮羽学園）、光の子福祉会（御幸保育園）、遊林福祉会（遊林愛児園）、うきは市社会福祉協議会
 （28 年 4 月から加入予定）幸輪会（うきは幸輪保育園）、素王福祉会（エバーガーデンうきは）

【うきは市社会福祉法人連絡協議会会議・研修会】

期日	内容
5/28	<ul style="list-style-type: none"> ・うきは市社会福祉法人連絡協議会規約の制定について ・研修会 テーマ「社会福祉法人の制度改革と社会貢献活動等に関する中央情勢について」 講師／社会福祉法人福岡県社会福祉協議会 茶木義人地域福祉部長 ・共助社会づくり推進のための市町村社協モデル指定事業の応募について ・平成27年度の活動について
6/18	<ul style="list-style-type: none"> ・共助社会づくり推進のための市町村社協モデル指定事業の応募結果について ・研修会 テーマ「地域公益活動の参考事例について」 講師／社会福祉法人福岡県社会福祉協議会 茶木義人地域福祉部長 ・プロジェクト委員会活動について
3/3	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察研修（豊後大野市住まい・生活支援モデル事業） 視察先／社会福祉法人偕生会 養護老人ホーム常楽荘 くすのきハウス

【社会貢献プロジェクト委員会】

期日	参加者	場所	内容
7/7	12名	うきは市社協 吉井事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人連絡協議会、社会貢献プロジェクト委員会について ・共助社会づくり推進のための市町村社協モデル指定事業について ・委員長、副委員長の互選について ・研修会「地域公益活動の参考事例について」 講師／福岡県社協 地域福祉課 川崎課長、岡山主査 ・プロジェクト委員会の今後の活動について
8/4	13名	希望が丘	<ul style="list-style-type: none"> ・各法人の取り組み紹介について ・意見交換
9/8	12名	光福寺 (遊林愛児園)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題分析・社会貢献活動としての取り組みの方向性について
10/8	12名	光教寺 (御幸保育園)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題分析・社会貢献活動としての取り組みの方向性について ・視察研修について ・社会福祉法人連絡協議会研修会について
11/12	13名	えびね荘	<ul style="list-style-type: none"> ・課題分析・社会貢献活動としての取り組みの方向性について ・視察研修について ・支えあいのまちづくりフォーラムについて
12/17	10名	水月吉井	<ul style="list-style-type: none"> ・課題分析・社会貢献活動としての取り組みの方向性について ・視察研修について ・支えあいのまちづくりフォーラムについて
1/21	11名	熊本県内	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察研修 1) 社会福祉法人東翔会 総合ケアセンターたいめい苑（玉名市） 「地域福祉推進室の設置による社会福祉法人と地域の連携」 2) 社会福祉法人三玉福祉会 三玉保育園（山鹿市） 「保育園でおこなうふれあいいきいきサロンの取り組みについて」
2/4	12名	浮羽学園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ニーズ（課題）に対する方策案のまとめ ・今後のスケジュールについて ・障害者虐待防止研修会について その他

II 地域福祉活動部門

1. 調査・研究事業

(1) 部 会

各部会では、今年度から長期テーマと短期テーマを設定し、そのテーマについて次の日程で研究・協議をおこないました。

■各部会の研究テーマ

部会名	長期・短期	テーマ
高齢者福祉部会	長期テーマ	・よりあいについての課題の解決策について研究する
	短期テーマ	・買い物支援の活性化について研究する ・よりあいの課題について研究する
障害者（児）福祉部会	長期テーマ	・うきは市障害者計画・障害者福祉計画の全体像を把握し、障害者理解の方策について研究する
	短期テーマ	・市と連携して作成する社会資源リストの内容について協議・検討する
児童福祉部会	長期テーマ	・不登校・ひきこもり支援について ・子育て支援の在り方について
	短期テーマ	・注意欠陥多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）への理解について
福祉教育部会	長期テーマ	・「福祉教育とは」を整理する
	短期テーマ	・広報活動の効果的方策を研究・企画する
ボランティア部会	長期テーマ	・これからの福祉委員活動を考える
	短期テーマ	・団塊の世代のボランティア活性化を研究する

■各部会開催状況

部会名	期日	出席者	協議事項
高齢者福祉部会	8/6	委員 6名	・平成27年度部会活動について
	9/29	委員 9名	・買い物支援について 講師/㈱サンピット 代表取締役社長 久次辰巳氏 ・デマンド型交通について 講師/うきは市役所企画財政課企画調整係 樋口秀吉係長
	12/3	委員 9名	・移動販売についての協議
	1/29	委員 10名	・「高齢者困り事調査」の中身について協議 ・平成28年度社協事業への提言について
障害者（児）福祉部会	8/6	委員 11名	・平成27年度部会活動について
	9/25	委員 8名	・うきは市の地域資源情報提供冊子に関する協議
	11/17	委員 11名	・うきは市の地域資源情報提供冊子に関する協議
	2/5	委員 8名	・うきは市の地域資源情報提供冊子に関する協議 ・平成28年度社協事業への提言について
児童福祉部会	8/6	委員 9名	・平成27年度部会活動について
	11/6	委員 7名	・研修 「注意欠陥多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）への理解について」 講師/部会員 善 あき子氏（保護者の立場から） 御幸小学校 通級指導教室担当 大塚 祐子教諭（学校の立場から）
	2/2	委員 11名	・講話 注意欠陥多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）について 医師から見たうきは市の現状及び思い 講師/筑後吉井こころホスピタル 梅根 眞知子理事長 ・不登校・ひきこもり支援事業の現状報告 社会福祉協議会 引きこもり相談支援員 権藤 俊介 ・平成28年度社協事業への提言について

部会名	期日	出席者	協議事項
福祉教育部会	8/6	委員 7 名	・平成 27 年度部会活動について
	9/2	委員 11 名	・福祉教育指定校の活動内容について ・うきは市社会福祉協議会の広報活動について
	11/26	委員 8 名	・福祉教育指定校に対するアンケートの内容について
	1/18	委員 10 名	・広報研修 「文字で自分の気持ちを伝えるために」 講師／久留米日日新聞社 社主 森 久 氏
	2/3	委員 9 名	・前回の広報研修のまとめ ・28 年度事業への提言について
	3/9	委員 7 名	・学校における福祉教育活動の取り組みに関するアンケート調査結果について
ボランティア部会	8/6	委員 9 名	・平成 27 年度部会活動について
	11/18	委員 8 名	・研修会 「支えあいのまちづくりについて ～介護保険制度改正の視点から～」 社協 総務企画課 生活支援コーディネーター 相良 照美
	2/4	委員 9 名	・ボランティア活動状況見学（配食ボランティア見学） ・28 年度事業への提言について
部会名	期日	出席者	内容
合同部会	8/6	委員 42 名	・委嘱状交付 ・部会の設置目的について ・H26 年度の部会活動について（報告）

■社協への提言

部会名	提 言
高齢者福祉部会	①日常生活の困り事に関するアンケート調査をおこなってください。 ・75 歳以上の単身高齢者、世帯全員が 75 歳以上の高齢者を対象としたアンケート調査をおこない、高齢者が必要としているサービスの把握と周知を図ってください。
障害者（児）福祉部会	①障害者差別解消法に関する研修会を実施してください。（市・社協への要望） ・平成 28 年 4 月から施行される、障害者差別解消法に関する理解をより一層深めるため、部会で研修を行うとともに、事業所や地域住民向けの研修会を実施してください。 ②既存の公共施設のバリアフリー化を進めてください。（市への要望） なお、事前に障害当事者と協議する場を設け、意見を反映した改修を行ってください。 ※点字ブロック等の物理的バリアフリーのみならず、職員の対応等についての検討してください。
児童福祉部会	①AD / HD 等に関して、関係機関の連携を促すとともに、住民への理解及び広報啓発に努めてください。 ②AD / HD 等相談窓口（保護者向け）の開設を検討してください。 ③不登校・引きこもり、学習支援事業への運営支援をしっかりと行ってください。
福祉教育部会	様々なお困りごとがある方々を相談窓口へとつなげられるよう、社会福祉協議会がどのような活動をしているかを、住民に分かりやすく伝えるための広報活動を行ってください。 広報活動の中でも、社協だより「ふくしのかかわら版」を作成する上で、次のような点に留意してください。 ①表紙に目次を設けてください。 ②事業や地域の福祉活動の報告だけでなく、社協の各事業を分かりやすく掲載してください。 ③特に知らせたい事項については、ふくしのかかわら版に、A4 のチラシで挟み込むなどして、見せる工夫をしてください。 ④市民に分かりやすいように、平易な言葉で、読み手に伝わるような記事を作成してください。
ボランティア部会	①ボランティア活動をしている方にも経験を話してもらおう「ボランティア入門講座」を開催してください。 ②社協広報誌に、実際にボランティアをしている方の感想を掲載し、PR をしてください。 ③ボランティアセンターの PR と入りやすい環境を整えてください。

2. 連絡調整事業

(1) 連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項
ふれあいセンター、地区自治協議会福祉部	ふれあいセンター・自治協議会福祉部連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政（福祉事務所福祉係）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
行政（保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、成年後見制度他
行政（福祉事務所保護係）	行政・社協事務連絡調整会議	生活困窮者自立促進支援モデル事業
行政（市民協働推進課コミュニティ支援係）	行政・社協事務連絡調整会議	ふれあいセンター・自治協議会福祉部活動について
両筑管内社協（6市町村社協）	両筑地区社協連絡会	事業内容情報交換、課題解決他
県南地区社協（10市町）	県南地区社協連絡協議会	事業内容情報交換、課題解決他

(2) 委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者（担当所管）
要保護児童対策地域協議会実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
不登校・引きこもり対策相談支援事業サポート協議会	不登校・引きこもり対策相談支援事業に関するサポート協議	福祉事務所福祉係
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	福祉事務所福祉係
うきは市自殺対策プロジェクト委員会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係
浮羽地域在宅医療連携拠点整備事業委員	地域における在宅医療提供体制の検討	浮羽医師会
うきは市高齢者保健福祉計画策定会議	高齢者保健福祉計画策定の協議	保険課介護高齢者支援係
地域ケア会議	個別ケース検討、ネットワーク構築 地域課題の発見	保健課地域包括支援係

3. たすけあい献血事業

うきは市からの委託を受けて、地域献血・年頭献血・事業所献血を行いました。地域献血・年頭献血においては、各自治協議会、区長会などの協力を得て実施することが出来ました。

(1) 献血推進協議会

期 日	会 場	出席者	内 容
11/11 (水)	うきは市総合福祉センター	委員 26 名	平成 26 年度献血運動について 平成 27 年度献血運動について 年頭たすけあい献血について

(2) 地域献血

期 日	地区別	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)	不採血者	
5/21 (木)	全 域	市役所	2	170	148	87.1%	22
10/8 (木)	全 域	市役所	2	161	146	90.7%	15
合 計		2 会場	4	331	294	88.8%	31

(3) 年頭たすけあい献血

期 日	地区別	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)		不採血者
1/3 (日)	山 春	山春コミュニティセンター	1.5	89	81	91.0%	8
	福 富	福富コミュニティセンター	1	63	59	93.7%	4
	新 川	新川コミュニティセンター	0.5	19	17	89.5%	2
	田 籠	田籠コミュニティセンター	0.5	21	17	81.0%	4
	妹 川	尼ヶ瀬公民館	0.5	23	22	95.7%	1
1/4 (月)	御 幸	うきは市民ホール	2	120	114	95.0%	6
	大 石	大石コミュニティセンター	1.5	68	62	91.2%	6
	小 塩	小塩コミュニティセンター	0.5	15	15	100.0%	0
	吉 井	うきは市生涯学習センター	1	74	67	90.5%	7
1/5 (火)	千年・江南	市役所1階ロビー	1	119	107	89.9%	12
	浮羽町	男女共同参画センター	1	52	48	92.3%	4
合 計	11 会場		11	663	609	91.7%	54

(4) 事業所等献血

期 日	事業所、団体名	配車台数	参加者	採血者 (%)		不採血者
4/2 (木)	うきは警察署	0.5	19	18	94.7%	1
	テクノ月星	0.5	32	31	96.8%	1
4/7 (火)	福岡県土木組合連合会久留米支部	0.5	30	24	80.0%	6
9/24 (木)	うきは警察署	0.5	29	28	96.6%	1
	テクノ月星	0.5	31	28	90.3%	3
11/27 (木)	福岡県生コンクリート工業組合青年部・JAにじ	1	106	90	84.9%	16
合 計	6 会場	3.5	247	219	88.7%	28

(5) 学校献血

期 日	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)		不採血者
2/15 (月)	浮羽究真館高等学校	1	110	89	80.9%	21

(6) 献血活動の広報

献血活動を推進するために、市広報・社協だより「ふくしのかわら版」への掲載、各行政区、市内主要箇所におけるポスターの掲示、広報カー・市役所防災無線での呼びかけ、年頭たすけあい献血チラシの全戸配布を行い、市民の皆さんにお知らせいたしました。

また、地域献血及び事業所献血では、参加者に対しBOXティッシュを、年頭たすけあい献血では、参加者にボールペンを進呈しました。

2/4に浮羽究真館高等学校3年生の進路確定者に対して献血セミナーを実施しました。

4. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

本会独自事業（市補助事業）として、福祉サービス利用援助事業を実施し、利用者の日常生活の自立を支援しました。本事業の利用者の実人員は、前年度比で30.6%増、訪問・活動回数は30.5%増となっており、年々相談・援助件数が増加している状況です。また、生活困窮者自立支援事業との連携により、金銭管理等が必要な方の本事業の利用も増加しています。

相談内容については、金銭管理だけにとどまらずに多岐に渡っており、関係機関との連携がさらに必要となってきています。今後、利用者増に伴い、業務を補助する生活支援員の増員と援助技術の向上がさらに望まれます。

[契約締結審査会]

	期 日	会 場	審査対象者数	報告件数	出席者
第1回	4/28	うきは市総合福祉センター	5名	29件	委員7名
第2回	7/28	うきは市総合福祉センター	8名	34件	委員8名
第3回	9/1	うきは市総合福祉センター	1名	0件	委員8名
第4回	10/26	うきは市総合福祉センター	2名	33件	委員6名
第5回	1/26	うきは市総合福祉センター	2名	36件	委員7名

相談経路 [利用者（契約者・試行利用者・状況観察者）実人員47名]

福祉事務所保護係	16	福祉事務所福祉係	1	福祉小座談会	1
親族	6	うきは市保健課	1	障害者就業・生活支援センター	1
障害者相談支援事業所	6	入所先施設	1	元雇用主	1
介護支援専門員	5	後見人	1	本人	1
民生委員・児童委員	2	医療機関	1	うきは市徴収対策課	1
北筑後保健福祉環境事務所	1	他市町村社協	1		

◆契約者数◆

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	高齢者	9	9	10	8	9	9	9	9	9	9	10	10
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	知的障害者	11	11	13	13	14	16	16	19	19	19	19	18
	精神障害者	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	その他	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
試行利用契約		5	4	4	3	2	0	0	0	1	1	1	2
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		33	31	35	32	33	33	33	36	37	37	39	39

◆訪問、活動回数◆

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	56	47	40	56	52	47	50	53	57	42	44	55	599
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	7	12
	知的障害者	71	66	79	97	90	104	104	118	109	105	112	114	1,169
	精神障害者	33	26	44	48	52	53	45	42	45	49	42	31	510
	その他	53	33	34	38	37	37	40	44	42	39	38	26	461
試行利用契約		34	26	25	14	18	0	0	0	6	6	6	16	151
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		247	198	222	253	249	241	239	257	259	241	247	249	2,902

◆その他◆

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談受付回数	2	1	2	1	0	2	4	2	0	0	4	5	23
新規契約者	0	0	5	0	2	2	1	3	0	0	2	0	15
契約終了者	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	1	2	8

認知症高齢者や障害者等要支援者に対する悪質業者による訪問販売への対応（行政、地域包括支援センター等関係機関との連絡調整）など、本サービスの利用に結びつかない事例でも、随時相談に応じると共に、必要に応じて成年後見人制度の紹介、申立てに繋げるなど対応しました。

契約事項	サービス内容
福祉サービス利用援助	福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払い代行等
日常的金銭管理	公共料金等の支払い代行、預貯金の出し入れ支援等
書類等預かりサービス	日常的金銭管理に使用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり

5. 成年後見事業

法人後見事業では、認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者等、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、本会が成年後見人等となり、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行うことによって、その権利を擁護し、地域で安心して生活できるよう支援をしていきます。

成年後見人等に就任すると、代理権があるため、ご本人に代わって介護サービスの契約等を行ったり、ご本人が行った不利益な契約と取り消すことができるようになります。また、福祉サービス利用援助事業の契約時より、認知症等の症状が進行し、事業対象の枠を超えるケースが出てきたり、核家族化が増大し、近くに親族等がない要援護者が増えたりという現状もあり、成年後見制度の移行により、引き続き社協が後見人としてきめ細やかな支援を行うことが出来、いつまでも安心して暮らすことができる地域づくりにつながります。

今年度は、市長申立てによる成年後見の申立て案件について、うきは市社会福祉協議会が成年後見人として選任され、ご本人の財産管理や、介護保険や病院などの手続きなどを適切に行うことで、安心した生活が送れるように支援に努めました。

また、今年度は市民後見人推進事業を市から受託し、成年後見制度普及啓発講座と市民後見人養成講座【基礎編】を開催しました。市民後見人養成講座【基礎編】受講者のうち、登録を希望する方、検討している方については、平成 28 年度開催の【実務編】の受講をしていただいた後、登録をしていただきます。その後、社協が実施している福祉サービス利用援助事業の生活支援員として活動することで経験を積んでいただき、適任者に市民後見人として活動を依頼することを想定しています。

〔法人後見受任状況〕

No.	性別	年齢	類型	症状	審判を受けた年	申立人	ご本人の居住	利用経緯等	備考
1	男性	70 歳代	後見	認知症	H27 年度	市長	在宅→施設	福祉サービス利用援助事業	死亡 (H27 年度)

〔成年後見制度普及啓発講座〕 会場：うきは市総合福祉センター

	期 日	内 容	受講者
1	11/10	「成年後見制度って何だろう～制度の仕組みについて」 講師：法テラス福岡法律事務所	32 名
2	11/17	「具体的な事例からみる成年後見制度」 講師：法テラス福岡法律事務所	28 名

〔市民後見人養成講座【基礎編】〕 会場：うきは市総合福祉センター

	時間	内 容	講師	参加者
1	2/16 13:30～14:40	オリエンテーション	うきは市社会福祉協議会	20名
	13:40～14:50	高齢者と障害者の権利擁護について	社会福祉士 池田 将樹氏	
	15:00～16:00	成年後見制度の概要	法テラス福岡法律事務所 弁護士 山田 明弘氏	
2	2/23 13:30～14:30	対象者の理解（1）認知症について	うきは市地域包括支援センター	21名
	14:40～15:30	対象者の理解（2）精神障害について	北筑後保健福祉環境事務所	
	15:40～16:30	対象者の理解（3）知的障害について	こぐま福祉会 障害者相談専門員 入部祥子氏	
3	3/1 13:30～15:00	後見業務の実際（1）申し立て～終了まで	リーガルサポート福岡支部 司法書士 富永 真博氏	21名
	15:10～16:30	後見業務の実際（2）財産管理		
4	3/8 13:30～14:30	消費者被害の現状と対応	福岡県消費生活センター	22名
	14:30～14:50	日常生活自立支援事業について	うきは市社会福祉協議会	
	15:00～16:30	任意後見制度について	久留米公証役場	
5	3/15 13:30～14:30	成年後見制度の現状と課題	久留米家庭裁判所	20名
	14:40～16:00	後見業務の実際（3）身上監護	いけだ社会福祉士事務所 池田 正樹氏	
	16:10～16:30	修了式 連絡事項	うきは市社会福祉協議会	

6. うきは市障害者相談支援センター

障害者相談支援事業では、障害者のさまざまな相談に応じていますが、相談件数が昨年度比で23.2%増加しており、特に、身体障害者と知的障害者、関係機関からの相談が増加しています。また、相談内容が生活面のちょっとした相談から就労や将来の相談までと多様化しており、また相談者の抱える課題が複数混在していたりと複雑化しており、専門機関との連携がさらに重要になってきています。今後も、他部門との連携をさらに行いながら、相談が増加している福祉サービス利用について、社協の専門性を発揮できるように、相談員の技術向上につとめていきます。

（1）障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障害者の様々な相談に応じると共に、障害者総合支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害支援区分認定調査及び障害支援区分認定審査会への参加を行いました。

◆相談件数・相談内容◆

		身体障害者	知的障害者	精神障害者	関係機関	その他	合 計
相 談 方 法	電 話	44	403	561	1,933	320	3,261
	来 所	37	308	504	437	146	1,432
	訪 問	62	351	132	196	54	795
	F A X・メール	1	0	12	0	0	13
合 計		144	1,062	1,209	2,566	520	5,501

		身体障害者	知的障害者	精神障害者	関係機関	その他	合計
相談内容内訳	①福祉サービスの利用	59	183	159	1,032	121	1,554
	②障害や病状の理解	0	30	69	27	21	147
	③健康・医療	2	59	25	324	3	413
	④不安の解消・情緒安定	9	82	369	24	62	546
	⑤保育・教育	0	21	19	69	6	115
	⑥家族関係・人間関係	2	44	96	95	21	258
	⑦家計・経済	0	71	49	45	6	171
	⑧生活技術	2	87	43	126	52	310
	⑨就労	2	29	46	97	16	190
	⑩社会参加・余暇活動	5	19	63	39	19	145
	⑪権利擁護	8	68	15	80	6	177
	⑫その他	55	369	256	608	187	1,475

◆会議等◆

障害支援区分認定調査件数	84件
障害支援区分認定審査会参加	10回
地域自立支援協議会参加	1回
地域自立支援協議会事務局会議参加	11回
地域自立支援協議会児童部会参加	4回
地域自立支援協議会就労支援部会参加	4回

(2) 障害者地域支援センター(ほっとスペースうきは) 利用促進

うきは市総合福祉センターにおいて、障害者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センター「ほっとスペースうきは」を運営しました。センターでの活動に際しては利用者の皆さんに登録を頂き、利用していただいています。昨年度に比べると延利用者が増えた要因には、ほっとスペース内の内職シェアステーション Coccocone (こここんね) の利用者が増えているためだと考えられます。

また、ほっとスペースでの行事のメニューを工夫し、11月にパステルアート教室をはじめ開催しました。こうした行事を開催をとおして参加者同士の交流もできていますので、さらに、利用者が増加するような取り組みを行い、障害者の交流・相談の拠点としての機能を充実していきます。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数		26	28	45	34	44	36	40	37	57	45	38	40	470
内訳	身体障害者	3	3	4	3	4	5	4	5	4	4	3	4	46
	知的障害者	3	5	9	3	6	3	4	7	8	9	5	4	66
	精神障害者	14	13	17	18	16	14	17	15	15	17	17	17	190
	障害児	0	1	0	1	4	0	0	0	8	3	0	4	21
	その他	4	6	5	4	9	6	12	10	12	9	7	7	91
	関係者・家族	2	0	10	5	5	8	3	0	10	3	6	4	56
利用者延人数		220	205	302	288	288	233	295	275	296	244	282	347	3,275
内訳	身体障害者	36	33	43	40	37	49	51	46	40	37	40	44	496
	知的障害者	11	37	38	37	45	40	46	36	48	35	31	30	434
	精神障害者	108	83	131	136	118	73	78	83	90	84	111	137	1,232
	障害児	0	1	0	1	14	0	0	0	8	3	0	4	31
	その他	63	51	80	69	69	63	117	110	100	82	94	128	1,026
	関係者・家族	2	0	10	5	5	8	3	0	10	3	6	4	56

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規登録者数		29	2	3	0	1	7	4	0	5	1	2	0	54
内 訳	身体障害者	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5
	知的障害者	4	1	2	0	1	0	0	0	5	0	1	0	14
	精神障害者	17	1	0	0	0	4	2	0	0	1	1	0	26
	その他	5	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	9
見学者数		2	1	3	3	4	1	9	30	2	22	87	0	164
内 訳	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	知的障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	精神障害者	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	その他	1	0	0	0	4	0	3	0	0	0	0	0	8
	関係者・家族	0	0	3	3	0	1	6	29	1	22	86	0	151

■ほっとスペースうきはでは次の行事を行いました。

6月20日：野球観戦 8月27日：卓球大会 11月19日：パステルアート教室
12月12日：チャレンジド親の会交流会 12月25日：ほっとスペース交流クリスマス会

7. 指定相談支援事業

障害者（児）等からの相談に応じ、サービス事業者、施設、病院など関係機関と連絡調整等を行い、地域で安定した生活ができるよう支援計画等を作成しました。

■指定特定相談支援事業所（市指定）：サービス等利用計画の作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規作成件数	7	1	10	6	1	0	5	3	2	7	7	14	63
継続作成件数	7	4	3	5	7	8	6	6	4	6	1	7	64

■障害児相談支援事業所（市指定）：障害児通所サービス利用計画の作成
計画作成なし

■指定一般相談支援事業所（県指定／平成25年10月1日）：地域移行支援、地域定着支援の実施

8. 生活困窮者自立支援事業

国の新たな施策である「生活困窮者自立支援法」が今年度4/1から全国で本格実施されました。この事業は、働きたくても働けない、住むところがない等といった様々な相談をお受けし、一人ひとりの状況にあわせた支援プランを作成、専門の支援員が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、お困りごとの解決に向けた支援を行う事業です。今までの高齢者や障害者といったカテゴリーで対応してきた福祉の制度と違い、この事業では、失業者、多重債務者、ホームレス、ニート、引きこもりなど、さまざまな方への支援が考えられており、複合的な課題を抱え、これまで「制度の狭間」に置かれてきた方々への支援を行う制度となっています。

本会では市の委託を受けて、26年7月からのモデル事業に引き続き、自立相談支援事業、個別支援計画策定、就労準備支援事業、家計相談事業、子どもの学習支援事業を実施しました。

(1) 自立相談支援事業

生活困窮問題についての相談をお受けして、解決策を検討しました。相談内容は以下の通りで、非常に多岐にわたった内容となっています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談所開設日数【日】	21	18	22	22	21	19	21	19	19	19	20	22	243
相談対応者数【名】	18	23	22	27	26	31	27	25	22	18	25	23	287
うち、保護受給者数【名】	5	3	2	5	5	8	5	6	6	6	6	4	61
相談対応総数(訪問含)	51	48	46	62	63	66	68	47	55	42	54	58	660
新規相談者数【名】	4	12	7	11	11	15	14	10	4	2	7	9	106

	内容
相談内容上位1位	貸付相談
相談内容上位2位	対人トラブル相談
相談内容上位3位	就労訓練相談

①個別支援計画策定

生活困窮状態から脱却するために、本人の意思を尊重しながら自立支援に向けた計画を策定し、利用者はこのプランに基づいた訓練や学習支援などを受けています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計
新規個別支援計画策定件数【件】	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	6
うち保護受給者数【名】	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
現 実 施 計 画 累 計 数	15	16	16	15	16	14	16	16	16	16	16	16	188

(2) 就労準備支援事業【内職シェアステーション Coccoconne (こここんね) 開設状況】

就労準備支援事業として、うきは市総合福祉センター内に内職シェアステーション Coccoconne を設置し、4種類の内職作業を提供しながら、就労に向けての訓練や他人とのコミュニケーションの訓練、また社会参加を促すようなグループ活動などを実施しました。また、内職受注先である長尾製麺株式会社のご好意により、袋詰めしたラーメンを「自立ラーメンまえむき」としてパッケージをし、販売をさせていただきました。この販売収益が作業者の工賃アップにつながっています。

〔通所者工賃〕 H27.4月～11月一人平均 2,674円 → H27.12月～H28.3月 一人平均 10,452円

〔内職受注先〕

事業所名	所在地	作業内容
株式会社熊谷ゴム	久留米市田主丸	ゴム製品のバリ取り
長尾製麺株式会社	うきは市吉井町	ラーメンの袋詰め
森田農園	うきは市吉井町	ほうれん草・水菜袋詰め
株式会社 kimmy	春日市	粉製品の袋詰め

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数【日】	21	18	22	22	19	19	21	19	19	20	20	22	242
通所者数【名】	13	13	16	16	16	20	21	25	20	21	21	19	221
延べ人数【名】	167	159	219	222	196	173	250	271	228	197	242	304	2,628
うち保護受給者数【名】	4	4	5	5	6	7	9	7	6	6	8	7	74
うち保護受給者延べ人数【名】	70	58	97	93	81	91	135	104	82	76	95	120	1,102
平均利用【人／日】	8.0	8.8	10.0	10.1	10.3	9.1	11.9	14.3	12	9.9	12.1	13.8	
受注事業所件数【件】	2	2	3	2	3	3	3	4	4	4	3	4	

(3) 家計相談支援事業

家計相談支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ等を行い、早期の生活再生を支援しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
家計に係る相談件数【名】	1	0	0	1	2	1	1	0	0	0	1	0	7
うち事業対象者数【名】	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
うち生保に繋いだ件数【名】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 子どもの学習支援事業

生活保護世帯・生活困窮している世帯の中学生を対象とした学習支援を市内2ヶ所で展開し、居場所の確保、学習の場の提供、進学・進路のアドバイス、年齢の近い社会人・大学生ボランティアを利用した将来的なモデル提示等を積極的に展開し、子どもたち目線での貧困対策支援を実施しました。

また、当事業においては近隣大学である久留米大学や市内中学校、行政機関と連携し、幅広いネットワークの中で柔軟に子どもたちの対応を進めました。

◆対応人数◆

	吉井会場	浮羽会場	合計
実人数	4	6	10

※3年生5名、2年生3名、1年生2名

◆利用者数◆

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
吉井会場の開設日数【日】	5	4	4	3	4	4	4	3	3	3	3	3	43
浮羽会場の開設日数【日】	3	3	5	4	3	4	4	4	4	2	3	3	42
計	8	7	9	7	7	8	8	7	7	5	6	6	85
(吉井)利用者数【名】	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	5	5	49
(浮羽)利用者数【名】	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	53
計	8	8	8	8	8	7	8	9	9	9	10	10	102

◆実績◆

進学先
朝倉高校 普通科(福岡県立) 1名合格
浮羽求真館高校 総合科(福岡県立) 1名合格
朝倉光陽高校 食農科学科(福岡県立) 2名合格
浮羽工業高校 環境デザイン科(福岡県立) 1名合格
3年生5名全員が進学先決定

9. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業

市の受託事業として、専門相談員を配置し、不登校の子どもたち、ひきこもり状況にある方、その家族を対象に、相談に応じると共に、本人の同意を得た上での訪問活動、連携機関との情報共有、通年セミナーの開催等を行いながら包括的な支援を展開するなど、より本人の希望する道へと導けるよう支援を行いました。

また、相談・交流スペースを設置・午後をフリースペースとして開放、専用相談ダイヤルの設置、メール・インターネットでの相談、家族会の開催、当事者の会(Switch:スイッチ)の活動支援等を積極的に展開しました。特に家族支援の観点から、「うきは市不登校・ひきこもりを考える会」と共催で開催した家族会は、延べ12回開催、102名の参加がありました。

◆支援実人数と相談・訪問支援件数◆

	不登校	ひきこもり	合計
支援実人数	27	28	55
支援方法	不登校	ひきこもり	合計
相談支援(電話・メール・来所) / 回	675	579	1,254
訪問支援(自宅訪問) / 回	113	63	176
合計	788	642	1,430

◆支援状況◆

経過(不登校)	人数	経過(ひきこもり)	人数
進学決定	2	就労開始・継続	9
登校開始・継続	11	進学決定	2
就労支援	2	進学・資格取得支援	1
他機関へ移管	3	内職シェアステーション利用	4
不登校気味	4	ひきこもり気味	9
完全不登校	5	完全ひきこもり	3
合計	27	合計	28

◆フリースペース利用状況・回数◆

利用実人数	人数
不登校	8
ひきこもり	9
家族・関係機関	89
利用者	回数
不登校	373
ひきこもり	461
家族・関係機関	250

◆不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催◆

開催日	会場	参加者数	内容
8/17 (月)	うきは市総合福祉センター	25名	「多様な性のあり方と不登校・ひきこもり」 F R E N S 代表 石崎 杏理 氏
10/24 (土)	うきは市総合福祉センター	15名	「LINEから学ぶ誰でもわかるネットリスク講座」 LINE 株式会社 オフィシャルインストラクター 鈴木 慶光 氏

■家族会・当事者の会支援

(1) 家族会「みつばちの会」の支援

毎月第3水曜日19時から定例会を開催。参加者は毎月9名程度。コーディネーターに長阿彌幹生氏(教育文化研究所代表)をお呼びし、家族から見つめる不登校・ひきこもりについてを考えました。

(2) 当事者の会「Switch(スイッチ)」の支援

平成24年度からフリースペースを利用している当事者により、自分たちで支え合う団体(セルフヘルプグループ)として活動を行いたいとの声により、当事者の会Switchを設立。メンバーでの交流活動や赤い羽根共同募金での街頭募金活動、社協内での事務手伝いにおける社会人との交流・体験就労等行いました。今後は当事者間の交流等を進め、個人個人の目標を見つめ直す機会にもしていきます。

10. ふれあいのまちづくり推進事業

(1) 総合相談事業

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談に応じられるよう相談所を開設しました。

①心配ごと相談(常設相談)

相談開設：毎週火・金曜日 9:00～15:00

相談場所：火／吉井事務所 金／浮羽事務所

開設日数	100
相談者	58
相談経路 来所	43
〃 電話	15
相談件数	64

相談援助事項

終了解決	26	
相談継続	2	
社協による援助実施	3	
弁護士相談紹介	14	
他機関・組織への紹介	19	
内 訳	民生委員児童委員	1
	福祉事務所	2
	その他行政機関	13
	その他民間組織	3

	相談事項	件数	内 容	内数
暮らし住まい	生計問題	7	公的扶助(生活保護)	2
			ローン問題	2
			サラ金問題	2
			その他	1
	職業・生業問題	3	転職	3
家族	住宅問題	3	借家	2
			その他	1
	家庭問題	13	夫婦関係	2
			親子関係	6
			家庭不和	2
			親族問題	3
	離婚問題	4	離婚相談	2
			養育費	1
			離婚後の紛争	1
	医療	医療問題	1	その他

	相談事項	件数	内 容	内数
法律	財産問題	9	遺産分割	1
			遺言	1
			境界線(相隣関係)	2
			名義変更	5
	事故問題	1	交通事故	1
福祉・教育	児童福祉・母子保健問題	1	その他	1
	障害者(児)福祉問題	2	介護問題	1
	老人福祉問題	2	精神疾患	1
			介護	1
その他	苦情問題	10	行政施策に関する苦情	3
			相隣関係の苦情	6
			その他の苦情一般	1
	その他	8	その他	8
合計				64

②母子・父子・女性相談

相談開設：年12回(毎月第1木曜日)

相談場所：偶数月／浮羽事務所
奇数月／吉井事務所

	計	
相談開設	12	
相談来訪者	3	
電話相談	1	
相談件数	4	
内 容	生活苦	0
	住宅問題	0
	離婚	0
	その他	4

③第三者委員苦情相談

相談開設：6回

相談場所：浮羽事務所 5/13、9/1、1/13 実施
吉井事務所 7/7、11/4、3/2 実施

	浮羽	吉井	計
相談開設	3	3	6
相談来訪者	0	0	0

※ 5/13 うきは市デイサービスセン

ター、水月吉井、えびね荘訪問実施

※ 1/14 苦情解決従事者研修会 出席
(春日市クローバープラザ)

④弁護士無料法律相談

相談開設：年12回(毎月第3木曜日)

相談場所：偶数月／浮羽事務所 奇数月／吉井事務所

相談開設	12
相談来訪者	78
相談件数	87

相談結果

指導助言により終了	84	
扶助協会への紹介	0	
弁護士紹介	3	
内 訳	相談担当者直受	0
	継続相談	3
	相談担当者以外	0

	相談事項	件数	分類	内数
一般民事関係	不動産関係	14	所有権	2
			登記	1
			賃借権	2
			境界	2
			相隣	3
			その他	4
			債権関係	14
	売買	1		
	その他	7		
	損害賠償	4	交通事故	1
			傷害	1
			その他	2

	相談事項	件数	分類	内数
一般民事関係	その他	4	保証関係	2
			その他	2
	家事関係	49	離婚	11
			相続	24
			親子	6
			その他	8
	特殊事件	2	サラ金	2
合計			87	

⑤司法書士相談（福岡県司法書士会筑後支部との共催）

相談開設：年12回（毎月第4木曜日）

相談場所：偶数月／吉井事務所、奇数月／浮羽事務所

※社協は受付事務および部屋の貸出を実施

相談開設	11
相談来訪者	25
相談件数	25
相談結果	
指導助言	24
相談継続	1

相談事項	
不動産登記関連	10
相続関連	7
借金関連	3
裁判関連	0
成年後見関連	0
会社登記関連	0
その他	5

⑥相談員研修

相談員の資質向上を図るため次の研修会を実施しました。

期日	会場	参加者	研修内容
7/30 (木)	うきは市総合福祉センター	9	・研修「法テラスについて」 法テラスの業務説明について 相談対応事例について 講師／法テラス福岡 鍋田幸伸総務課長、植竹克典弁護士
10/27 (火)	大牟田市労働福祉会館	4	福岡県法律相談連絡協議会主催「福岡県法律相談合同研修会」 ・講演「高齢者の消費者被害対策」 ・意見交換会

(2) ボランティア活動に関すること

①ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日（日、祝日は休み）の8:30～17:15にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて需給調整をおこないました。また、月・水・金曜日の9:30～15:00は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。なお、月1回ボランティアコーディネーターの会議を開き、ボランティア相談に関する検討等を行いました。

ボランティアセンター相談受付状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	2	2	11
②ボランティア依頼	24	26	34	34	26	27	27	30	22	31	25	24	330
③情報収集	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	4	7
④その他	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3
合計	25	26	35	35	27	29	27	30	24	34	28	31	351

②ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織（低額有償サービス）への斡旋等を行いました。27年度は、移送サービスボランティア依頼の減少等により、前年度比で9.7%の減となっています。

また、ボランティア活動や会員制互助組織で対応できないケースについては、シルバー人材センターやその他の機関へ連絡し対応していただいたり、地域の力で解決していただいたケースもありました。

ボランティア活動相談については、希望に応じて各機関と連絡調整をしながら、ボランティア参加を促しました。ボランティア活動希望の件数が前年度より倍増しており、市民のボランティア活動に対する意識の現れであると思われます。今後は、団塊の世代が退職を迎え、地域での新たな役割としてボランティア活動への参加が促せるよう、ボランティアに関する広報のあり方や、活動につながる講座の開催などを検討していく必要があります。

[ボランティア活動依頼内訳]

(件)

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出	通院・通所介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出・旅行介助（ガイドヘルプ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移送ボランティア	21	22	32	28	19	24	22	30	18	28	25	21	290
生活援助	家事援助	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	小修理	3	4	0	2	3	2	0	0	1	0	0	1	16
	理容・美容カット	0	0	1	2	0	0	2	0	1	0	0	0	6
友愛訪問	保育・遊び相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手・安否確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出手伝い・出し物披露	0	0	1	2	4	1	2	0	2	3	0	2	17
技能提供	朗読、点訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話、筆記通訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話、点字の指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のボランティア		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
合計		24	26	34	34	26	27	27	30	22	31	25	24	330

③ボランティア保険加入促進

うきは市内でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

【ボランティア保険加入者数 744名】

④ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑におこなわれるよう、活動費の助成や活動支援をおこないました。

(助成金額 833,255円)

また、5/22 ボランティア連絡協議会総会、10/28 ボランティア連絡協議会役員研修（諫早市ボランティア連絡協議会視察研修）、1/16 ボラ連会員のつどいが行われ、活動支援を行っています。

うきは市では以下のような団体がボランティア活動をおこなっております。

うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧表 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

団 体 名		会員数	活 動 内 容
うきは市ボランティア連絡協議会加盟団体	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会 (日赤介護講習修了者グループ)	111	高齢者(一人暮らし・老夫婦)とのふれあい食事会 手作り弁当配布 シルバー男性料理教室 施設入所者訪問
	声のグループ うさぎ	11	視覚障害者の方に市情報(広報うきは、社協だより等)や物語を録音し届ける
	小修理ボランティア	3	高齢者世帯や障害者世帯を主として、水道関係・家屋補修および庭木の片付けなどを実施
	ハンディ移送サービスうきは	10	高齢者・障害者の移送サービス(会員制)
	七施会	21	社協の福祉給食の配食活動、白鳥の家アルミ缶回収時運転
	ビューティボランティア	2	寝たきり高齢者、障害者を主として訪問美容活動
	舞踊ボランティア	44	福祉施設への訪問活動、敬老会・盆踊り大会などへの協力
	ハッピーかい	22	福祉施設や市内のよりあいでのセラピューティックケアの実施
	朗読ボランティアともしび会	6	視覚障害者の方に市情報(広報うきは、社協だより等)や物語を録音し届ける
	点筆の会	8	視覚障害者の方に暮らしに役立つ身近な情報を点訳し届ける
かりん	20	よりあいの昼食づくり、一人暮らし高齢者交流会での調理協力	
夕月の会	7	一人暮らし高齢者交流会、施設訪問にて銭太鼓等を披露	
団体・グループ：12		会員数：265名	
把握団体	うきは市手話の会	26	聴覚障害者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	湯の花よかよか会	25	高齢者を対象に健康づくり体操を実施
	うきうき会(健康づくりボランティア)	18	公民館等において高齢者を対象に軽い体操を実施
	うきは市食生活改善推進会	60	地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	グループいろり	10	クリスマス時期にサンタクロースに扮し、子どもにプレゼントを届けて夢を与える
	うきは図書館友の会	16	図書館行事の支援ボランティア
	幸せの会「クローバー」	8	現役在宅介護者の相談相手や介護教室等のサポート
団体・グループ：7		会員数：163	
個人	運転ボランティア	16	社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	38	市内でのよりあいで、健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	15	ボランティアセンター個人登録者
個人：69名			
活動者合計 団体・グループ 19 (428名) 個人：69名			

⑤ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、また、よりよいボランティア活動を推進していくために必要な資材等を購入し、推進に努めました。

⑥よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区より指導依頼のあった場合、よりあいコーディネーターに依頼して、派遣指導を実施していただきました。(よりあいコーディネーター登録者：個人 30名 団体 3 団体)

【派遣実績】

(個人/人・団体/団体)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	16	35	25	35	14	33	28	17	19	15	27	44	308
団体	0	0	1	2	0	2	0	1	0	0	1	2	9

⑦よりあいコーディネーター養成講座

よりあいコーディネーターを養成するため、よりあいコーディネーター養成研修を行いました。また、登録いただいている方にも参加いただき、指導力向上も目指しました。

開催日	会場	参加者数	内容
7/7	うきは市総合福祉センター	16名	「よりあいて？ はじめましてのアイスブレイキング」 石井 貴美子 氏
7/14	うきは市総合福祉センター	21名	「仲間と共に楽しむレクリエーション」 福岡県レクリエーション協会 専務理事 佐藤 靖典氏
7/21	うきは市総合福祉センター	25名	「高齢者が喜ぶ、遊び心満載のゲームとは」 福岡県レクリエーション協会 登録指導者 西野 拓見氏
7/28	うきは市総合福祉センター	19名	「笑いのよりあい 笑いヨガと軽体操」 健康運動指導士 佐藤 昌久氏
8/5	うきは市総合福祉センター	24名	「レクリエーション道具の活用方法」 うきは市社会福祉協議会 職員

⑧ボランティア講習会・研修会の開催

現在ボランティア活動をされている方、これからボランティア活動をはじめたい方を対象に、次のようなボランティア講習会を開催しました。また、ボラ連に加入しているボランティアグループの研修開催の支援も行いました。

開催日	会場	参加者数	内容
6/16	総合福祉センター	29名	高齢者支援ボランティア講座
10/15・22	総合福祉センター	11名	ボランティア対象 救命講習
11/4	うきは自動車学校	15名	運転ボランティア安全運転講習会
1/16	ムラおこしセンター	121名	ボランティアにおけるコミュニケーション術

⑨ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化のため、次のつどいに参加しました。

開催日	会場	参加者数	内容
2/21	クローバープラザ（春日市）	55名	ふくおか"きずな"フェスティバル

⑩うきは市手話サークルへの支援

聴覚障害者への支援活動を行っている「うきは市手話の会」に、手話講習会や聴覚障害者との交流事業に活動の支援をおこないました。

(3) ふれあいセンター・地区自治協議会福祉部、福社会活動支援事業

ふれあいセンター、自治協議会福祉部活動について、担当職員を配置し、活動支援、連絡調整などをおこないました。

①ふれあいセンター・自治協議会福祉部、運営費・活動費助成

〔ふれあいセンター運営費算定基準〕

世帯数区分	運営費助成額 (円)	該 当 地 区
0～500世帯	80,000	妹川 田籠 新川 小塩
501～1,000世帯	120,000	大石 山春
1,001～1,500世帯	160,000	福富 江南
1,501～2,000世帯	200,000	千年 吉井
2,000を超える世帯	240,000	御幸

〔ふれあいセンター活動費助成金算定基準〕

基本配分：ふれあいセンターごとに一律 40,000 円

行政区数配分：一行政区につき 2,500 円

世帯数配分：一世帯につき 100 円

高齢率配分：うきは市の年度当初の高齢率 30.7% を基本値に 100% に設定し、高齢率配分基本額 80,000 円から、各地区の高齢率比率に応じて算出。

各地区のふれあいセンター、自治協議会福祉部に次の運営費・活動費を助成しました。
(円)

	御 幸	大 石	山 春	妹 川	新 川	田 籠	小 塩	福 富	合 計
運営費	240,000	120,000	120,000	80,000	80,000	80,000	80,000	160,000	960,000
活動費	436,300	277,600	262,300	160,900	196,100	150,000	191,500	289,500	1,964,200

(円)

	千 年	吉 井	江 南	合 計
運営費	200,000	200,000	160,000	560,000
活動費	336,000	337,800	282,600	956,400

※活動費は、各ふれあいセンターや地区自治協議会福祉部における地区福祉大会、友愛訪問、福祉委員の研修、先進地・施設視察研修など、それぞれの地区活動に活用されています。

※この他、各事業活動に応じて、加算助成を別途おこなっております。(助成金額 353,600円)

②ふれあいセンター・自治協議会福祉部連絡会

各ふれあいセンターや地区自治協議会福祉部の連携や情報交換をおこなうため、ふれあいセンター・自治協議会福祉部連絡会を開催しました。

【ふれあいセンター・自治協議会福祉部連絡会 検討内容】

回・期日	検討・情報交換項目
第1回 6/24	<ul style="list-style-type: none"> ・各ふれあいセンター・自治協議会福祉部の平成 26 年度事業報告 ・各ふれあいセンター・自治協議会福祉部の平成 27 年度事業計画 ・ふれあいセンター・福祉部活動支援のあり方 (答申) ・ふれあいセンター活動支援・助成規程の改正内容説明 ・福祉座談会・福祉小座談会の開催のお願い ・福祉会設立・活動推進のお願い ・よりあいコーディネーター養成研修のご案内

回・期日	検討・情報交換項目
第2回 11/10	<ul style="list-style-type: none"> ・各ふれあいセンター・自治協議会福祉部の中間報告 ・福祉座談会、福祉小座談会の開催状況及び推進の依頼 ・福祉会の設置状況及び推進の依頼 ・歳末たすけあい活動助成要綱の説明 ・支えあいのまちづくりフォーラム in うきはのご案内 ・社協パンフレットの改訂内容説明

③福祉会設置推進及び研修会

各地区ふれあいセンター・自治協議会福祉部などと連携して、福祉会の設置推進と活動支援をおこないました。

4月には、江南校区で二つ目の福祉会となる、福祉会が今泉区で設置されました。

また、11/11に福祉会役員、ふれあいセンター・自治協議会福祉部役員を対象に、研修会を開催しました。「わたしたちの福祉会活動」と題して、3つの福祉会からの実践報告、講演して頂き、参加者からは、普段から、声かけや関わりを持つことの重要性を再認識するとともに他の行政区の実践を自分の区でも実践してみたいと感じたとの声がありました。

実践報告「わたしたちの福祉会活動」

- 1、「支えあいマップからの気づき」 庄園区福祉会 大塚 千里さん 高野 ヤチ子さん
- 2、「よりあい活動から見守りへ」 古川町福祉会 橋本 榮さん
- 3、「見守り活動の視点」 吉広区福祉会 河北 和彦さん 江藤 典子さん

講演「私はどんな風に見守られたいだろう＝見守り・声かけ活動について＝」

講師 筑后市社会福祉協議会 総務福祉課 係長 卜部 善行さん

④福祉会活動支援・助成

うきは市内に28福祉会（38行政区）がありますが、助成要望書の提出があった25福祉会について、活動費の助成をおこないました。

地区	福祉会名	設立年度	地区	福祉会名	設立年度
大石	古川村福祉会	平成12年度	大石	東の1・2・3区福祉会	平成17年度
山春	保木区福祉会	平成12年度	大石	古川町区福祉会	平成17年度
山春	袋野区福祉会	平成12年度	山春	川籠石区福祉会	平成18年度
山春	西長瀬区福祉会	平成12年度	御幸	朝田原区福祉会	平成20年度
山春	荒瀬・畑中区福祉会	平成12年度	御幸	中町区福祉会	平成20年度
御幸	川原町区福祉会	平成13年度	御幸	御幸通区福祉会	平成20年度
妹川	檜ヶ平区福祉会	平成13年度	御幸	浮羽区福祉会	平成21年度
御幸	旭町区福祉会	平成13年度	大石	西高見（西の1・2・3・5）福祉会	平成21年度
山春	三春原福祉会	平成14年度	大石	西の4区福祉会	平成22年度
大石	東の6区福祉会	平成15年度	山春	吉広区福祉会	平成24年度
大石	中鶴区福祉会	平成15年度	山春	上組区福祉会	平成24年度
大石	糸丸区福祉会	平成15年度	山春	下組区福祉会	平成24年度
山春	大野原区福祉会	平成16年度	江南	庄園区福祉会	平成26年度
大石	東の4・5区福祉会	平成17年度	江南	今泉区福祉会	平成27年度

助成金については、基本助成として10,000円を、活動応分助成として実績を審査の上で追加助成をします。また、よりあい開催費については、別途よりあい活動助成をおこなっておりますので、福祉会活動助成には含まれません。

なお、大野原区福祉会、川原町区福祉会、庄園区福祉会は助成要望書の提出がありませんでした。

⑤福祉小座談会の開催

区の役員（区長、分館長、福祉委員）、民生委員等の皆様と地域で悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を74区で開催しました。

	開催区/行政区	実施区名
御幸	27/28	東町/隈の上/宮本/本町/西町/中川原/旭町/一の瀬/一の瀬新町/小坂/上流川/下流川/東浮羽/中町/御幸通/千足新町/千足一/千足二/千足三/千足四/千足五/今川通/松本/吉江/朝田原/浮羽/大崎
大石	10/18	西の1/西の2/西の3/西の4/西の5/糸丸/中鶴/古川村/東の4/東の5
山春	15/17	保木/川籠石/三春原/荒瀬/畑中/袋野/大野原/北原/東長瀬/吉広/上組/下組/中園/西長瀬/原口
新川	8/8	※8行政区全体で実施
福富	7/15	竹重/西福益/蓮町/東福益/冠/八竜/北福益
江南	7/19	稲崎/三牟田/庄園/高田/今泉/上古賀/太田

⑥よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成をおこないました。

開催回数/289回 開催区数/80区

参加内訳：高齢者/4,234名 世話人/1,335名 その他/660名 参加者計/6,229名

地区	開催区/行政区	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川校区	2/5	249	79	24	352	15
新川地区	0/8	0	0	0	0	0
田籠地区	0/1	0	0	0	0	0
小塩校区	3/4	256	44	38	338	27
山春校区	14/17	618	196	118	932	39
大石校区	18/18	544	272	103	919	29
御幸校区	21/28	1,293	360	173	1,826	67
千年校区	8/20	409	114	91	614	37
福富校区	5/15	303	103	43	449	21
吉井校区	2/23	105	30	6	141	9
江南校区	7/19	457	137	64	658	45
計	80/158	4,234	1,335	660	6,229	289

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります。
また、よりあいの手引き書を、福祉委員や民生委員等関係者に配布し、推進を図りました。

(4) 地区地域福祉活動計画策定支援

平成21年度にふれあいセンター御幸、23年度にふれあいセンター妹川と江南公民館福祉部が策定を終了し、計画に沿って、地区の福祉活動が推進されています。

社協では、他の地区についても計画策定の推進をしておりますが、本年度、自治協議会が策定する地域計画との関係もあり、計画策定の検討自体が保留となりました。

(5) 民生委員児童委員活動の支援・助成

地域における福祉活動の推進役である民生委員活動の推進を図るため、地域の福祉委員等との情報交換、連携を図ることを目的とした地区懇談会の開催に対して支援・助成を行いました。

・実行政区 59行政区 参加者実数 177名（民生委員、福祉委員、区長、ボランティア等）

1 1. 共同募金配分金事業

(1) 高齢者への支援

①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出をおこないました。

②金婚祝福の会

結婚50周年を迎えられたうきは市内に居住の方を対象に、金婚祝福の会をおこないました。

開催日／10/30(金) 会場／JAにし総合会館アルカス 該当者／56組

祝福の会出席者／47組(92名)

③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、活動の側面的支援を行うほか、活動助成金を支出しました。

団体名	助成金額	助成活動
うきは市 老人クラブ連合会	830,272円	・活動保険加入 ・新任会長研修 ・リーダー研修 ・県ゲートボール大会 ・高齢者相互支援活動 ・北筑後グラウンドゴルフ大会 ・広報誌発行費 ・日帰り研修会 ・校区幹部研修

④一人金婚式の助成

妹川・御幸地区自治協議会主催で実施された一人金婚式に対し、助成を行いました。(24,900円)

⑤高齢者安心カード作成(個人情報記載携帯カード)

高齢者安心カードを作成するために、老人クラブを通じて概ね75歳以上の登録希望者の方に申込み記入用紙を配布し、94名の方の携帯用カードの作成と配布を行いました。

(2) 障害者・家族への支援

①障害者団体活動支援・助成

障害者(支援)団体について、担当職員を配置し、団体活動の相談に当たるほか、活動助成金を支出しました。

団体名	助成金額	助成活動
うきは市障害者福祉協会	610,478円	・部会活動(聴覚障害者部会他) ・会員交流活動
チャレンジド親の会	98,460円	・会員交流活動
うきは地区精神障害者家族会	149,240円	・会員交流活動
合計	858,178円	

②障害者福祉情報の提供

ふくしのかわら版にて、障害者に関する団体の活動情報や福祉サービスに関する情報提供をおこないました。

③視覚障害者用録音物・郵便物貸出事業

市内の視覚障害者の方へ、朗読ボランティア(声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会)の協力により、広報うきは、ふくしのかわら版を定期的に、また必要に応じて身近な情報をテープに録音し届けました。(利用者:6名)

また、市内の点字を利用している視覚障害者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、身近な情報を点訳し届けました。(利用者:8名)

(3) 児童・青少年福祉に関する支援

①子育て支援団体助成

子育て支援に関わる各団体・組織に活動費および備品購入費の助成をおこないました。

名 称	助成額	名 称	助成額
子育てサークルひよこクラブ	14,737円	子育てサークルちびっこ広場	30,000円
		合 計	44,737円

②子ども用遊具貸出

各子育て支援団体等に必要遊具を貸し出ししました。

③母子・父子福祉活動事業

平成28年度に小学校に入学されるお子さん（母子・父子家庭）に対して、新入学お祝いとして、学用品（水彩道具セット）をお送りしました。（新入学児童数：36名）

④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の相談に当たるほか、活動助成金を支出しました。

団 体 名	助成金額	活 動 概 要
うきは市母子寡婦福祉会	395,090円	・親子バスハイク ・寡婦研修会 ・親子工作教室、バーベキュー ・お菓子教室 ・森林セラピー ・野球観戦（会員交流） ・新入学お祝い品（文房具）

⑤子育て支援情報の提供

ふくしのかかわら版にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。

⑥夏休みの福祉体験学習

夏休み期間を利用して、児童を対象に福祉体験学習を行いました。今年は、森林セラピーを体験し、その後、身体障害についてユニバーサルスポーツ体験を行いました。

〔実施日 8/5 小学生 13名・保護者 1名〕

⑦育児用品リサイクル事業への協力

育児用品の寄贈の受付・保管・貸出については総合福祉センター2階子育て支援センター「子ども交流室」にて行い、点検と清掃は社協・ボランティアセンターにて実施しました。

⑧うきは絆プロジェクトへの協働

うきは警察署との協働で、軽犯罪を犯した少年少女達の立ち直り支援として、防犯委員やボランティアセンター、地域の方々のご協力のもと地域活動を行いました。

「きずな農園」（金本区内）では、農作物を作り、昨年に引き続き、収穫した野菜でしし汁を調理し、JAにじ耳納の里にてチャリティ募金活動を行いました。ここで集められた募金は、うきは市の豪雨災害義援金として寄付しました。また、年末には総合福祉センター利用者のふれあい餅つき交流会を実施しました。

期日	活動	期日	活動
9/5	きずな農園植え付け	11/22	耳納の里チャリティ活動
10/12	きずな農園草取り・畑管理	12/25	ふれあい餅つき交流会
11/21	きずな農園収穫		

(4) 福祉教育に関する事業

①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うために、福祉教育指定校連絡会を開催いたしました。

（福祉教育指定校連絡会開催日 6月5日）

②福祉教育担当教諭との事前学習及び意見交換

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うために、福祉教育担当教諭との事前学習と意見交換を開催いたしました。

(福祉教育指定校連絡会開催日 6月5日)

③福祉教育指定校助成

市内の全小中高等学校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動支援及び助成金を交付しました。(助成金 小中学校 12校×70,000円、浮羽究真館高等学校 50,000円)

④福祉体験学習の支援

学校・自治協議会からの依頼を受けて、児童を対象に福祉体験学習を実施。ゲストティーチャー等の斡旋を行いました。体験学習を実施する際には、ボランティアコーディネーターや地域の方にもご協力頂きました。

実施日	学校名	内容
5/28	吉井小学校	「よりあい」について講話
6/11	吉井小学校	宮田区、2区のよりあいへ参加 地域の高齢者との交流
7/23	妹川小学校	視覚障害について(点字体験)
10/28	山春小学校	聴覚障害について
10/29	山春小学校	視覚障害について
11/9	御幸小学校	視覚、聴覚、身体障害について、(点字体験、車イス体験)
11/25	福富小学校	視覚障害について

⑤福祉教育読本の配布

福岡県社協が編集作成している、福祉教育読本「ともに生きる」を福祉教育教材として市内全小学校の5年生に1冊ずつ配布しました。

(5) 住民全般に関する事業

①社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の生活問題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

②福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするために、毎月1日に「福祉委員かわら版」を発行し、全福祉委員および各区長、民生委員児童委員に配布しました。

③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だよりの発行し、全戸に配布しました。(年1回)

④地域憩いの広場施設整備・補修の助成

地域憩いの広場施設整備・補修の助成をおこなっていますが、今年度は申請がありませんでした。

(6) 災害ボランティア養成・訓練

うきは市災害ボランティアセンターに係るうきは市との協定に基づき、平時の取り組みとして、6/7災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行いました。今回は、社協職員に加え、浮羽青年会議所、うきは女性防災クラブ、浮羽夢酔塾、うきは市勤労者協議会、うきは市役所、他市町社会福祉協議会、地域のボランティア等86名の皆さまのご協力により、計132名で訓練を行うことができました。設置訓練後、グループワークにて、班ごとに良かった点、改善点、感想等をまとめ、災害ボランティアセンター設置マニュアルの見直しを緊急・災害対策検討委員会にて検討しました。

また、6/10に、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議・竹田市社会福祉協議会の水野匡也氏をお招きし、「被災者支援における災害ボランティアセンターの役割と活動支援」と題して講話いただき、グループワークを行いました。

平常時からこうした訓練・研修を実施し、災害発生時や緊急時の支援体制の強化を図っていきます。

(7) たすけあい援護金品の支給に関する事業

①要支援・低所得世帯に対する無償野菜・お米等の配達訪問

J Aにじ「耳納の里」ならびに農産物搬入者のご厚意により、過剰分の野菜を毎週月・水・金曜日にいただき、市内在住の要支援・低所得世帯に安否確認を兼ねた配達を行いました。また、市民の皆様からご寄付いただいたお米もあわせて配りました。(区分の重複あり。実人員 20 名、3 機関)

区 分	対象者	延べ回数	備 考
低所得世帯	12	19	
障害世帯	9	77	
生保世帯	5	86	保護開始前、停止後の支援も実施
母子世帯	1	2	
その他	3	15	民生委員等
合 計	30	199	

②火災等災害被災者へのお見舞い

火災の災害に遭われた市民の方に対し緊急に見舞金を贈りました。

・件数：2 世帯 見舞金総額：115,000 円

(8) 歳末たすけあい配分事業に関すること

①年末見舞金

※年末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。(見舞事業総額：2,539,787 円)

援護の必要な世帯	44 世帯	1,368,000 円	事故・病気・災害遺児	2 名	24,000 円
長期在宅療養・認知症の方	24 名	288,000 円	両親の扶養のない児童	6 名	72,000 円
在宅重度障害者(児)	65 名	780,000 円	取次用領収書等		7,787 円

②年未年始援助活動

※年未年始援助活動費として次の事業に助成金を交付しました。(事業費総額：1,599,200 円)

①福祉施設歳末行事 (4 施設)	148,097 円	⑤ふれあいセンター等歳末援助活動	572,790 円
介護老人保健施設うきは、浮羽学園、希望が丘、ワークサポート白鳥の家		ふれあいセンター田籠・新川・小塩・妹川・山春・大石・御幸・福富	
②一人暮らし高齢者等見守り訪問活動	437,340 円	吉井・江南自治協議会福祉部	
要援護世帯へのカレンダー配布 (578 名)		⑥子育て支援活動	205,653 円
③正月用おもち配布活動	82,514 円	グループいろり「みんなでハッピークリスマス～サンタが街にやってきました」	
吉井幼稚園・吉井地区民児協によるお餅配布 (307 名)		江南学童保育所 (きらきらルーム)「クリスマス会」	
少林寺拳法浮羽道場によるお餅配布		福富学童保育所「クリスマス会」	
④地域交流活動事業	148,944 円	吉井学童保育所 (にこにこクラブ)「クリスマス会」	
チャレンジ親の会「障害のある子どもたちと家族の交流会」		大石学童保育所 (ラビットクラブ)「クリスマス会」	
ハッピーかい「セラピューティックケアサービス」		子育てサークルちびっこ広場「クリスマス会」	
学習支援ラーニングスペース mana「クリスマス会」		子育てサークルひよこくらぶ「クリスマス会」	
うきは市母子寡婦福祉会「若年親子クリスマス会」		⑦年賀状配布事業	1,976 円
点筆の会・声のグループうさぎ・ともしび会「意見交換・交流会」		吉井幼稚園による一人暮らしの方への年賀状配布 (38 通)	
		⑧配分決定通知等郵送代	1,886 円

1 2. 資金貸付事業

民生委員児童委員が低所得世帯等の更生指導をおこなう資源として、資金貸付制度の運用をおこないました。資金の貸付にあたっては、貸付調査委員会の意見・答申のもとに行いました。

■貸付調査委員会■

回数	期日	会 場
第1回	4/9	うきは市総合福祉センター
第2回	9/8	うきは市総合福祉センター
第3回	12/9	うきは市総合福祉センター
第4回	2/3	うきは市総合福祉センター

【初回相談件数】

相談内容	件 数
生活費等	32
教育費	18
その他（問い合わせ）	28
計	78

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協より事務委託）

【平成27年度貸付】 (人)

資金種類	27年度取扱い分	うち27年度新規
総合支援資金	5	0
福祉資金	10	3
緊急小口資金	9	1
教育支援資金	52	7
不動産担保型生活資金	2	0
計	78	11

【平成27年度貸付決定額】 (円)

資金種類	決定額
総合支援資金	0
福祉資金	2,106,000
緊急小口資金	100,000
教育支援資金	15,164,000
不動産担保型生活資金	0
計	17,370,000

(2) 援護資金貸付事業

【平成27年度状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
前年度以前貸付	125,500円	3			112,500円	13,000円	1
27年度内貸付			180,000円	6	159,000円	21,000円	1
合 計	125,500円	3	180,000円	6	271,500円	34,000円	2

(3) 育英奨学資金貸付事業

社協独自の育英奨学金として、低所得世帯の生徒に対し高等学校への修学資金を貸し付けていますが、27年度は2名を採用しました。

【育英奨学資金償還状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
貸付完了分	282,200円	3			180,000円	102,200円	1
貸付完了分(猶予分)	576,000円	1			0円	576,000円	1
25・26年度内貸付完了分	2,304,000円	-	1,344,000円	7	0円	3,648,000円	7
27年度内貸付			384,000円	2	0円	384,000円	2
合 計	3,162,200円	4	1,728,000円	9	180,000円	4,710,200円	11

1 3. 家族介護支援事業

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している家族の支援を行いました。

①在宅介護者の会「コスモス会」活動支援・助成（助成額 100,933円）

実施日	行事内容	参加者数
4/3	役員会	5名
5/8	役員会	5名
5/15	総会、交流会	17名
6/12	役員会	5名

実施日	行事内容	参加者数
7/10	定例会(介護保険制度について) 講師:うきは市社協	11名
8/1	定例会(家庭介護介護者養成講座) 主催:福岡県市町村振興協会	8名
8/8	定例会(家庭介護介護者養成講座) 主催:福岡県市町村振興協会	8名
9/11	定例会(陶芸教室)	12名
11/6	定例会(介護教室) 講師:うきは市デイサービスセンター	11名
12/11	定例会(介護料理教室) 講師:高浪真由美氏	11名
1/27	定例会(視察研修・講話) 視察先:介護者サロン トワエ☆モア〔小郡市〕 講 話:横隈観音 清影山如意輪寺(かえる寺)〔小郡市〕	12名
3/11	役員会	5名
合計		110名

②うきは市在宅介護者のつどい

期日	内 容	参加者数
3/2	在宅介護者のつどい リフレッシュ日帰りの旅 場所:福岡県柳川市 御花	11名
合 計		11名

14. 移送サービス支援事業

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、移送サービスの支援を実施しました。通院の送迎が主ですが、通院の帰りに買い物へ行く場合もあります。

送迎用の車輛は、軽シートアップ車、軽車イス対応車、介護車から選択することができます。なお、どの車輛も車椅子を折りたたんで運ぶことができますが、軽車イス対応車については、車椅子に乗ったままの移送が可能です。(利用無料、活動協力費を社協助成/助成額 265,500円)

【ハンディ移送サービス利用状況】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数		11	11	13	11	7	14	10	9	12	12	13	13	136	
内 訳	歩行困難高齢者	独居高齢者	7	6	7	8	4	8	5	6	5	8	7	76	
		高齢者世帯	1	2	3	1	0	2	1	2	3	3	2	3	23
		その他	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	6
	障害者	身体障害者	2	2	2	0	2	2	2	0	2	2	2	1	19
視覚障害者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
知的障害者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
移送件数		23	21	21	19	15	23	22	19	24	21	22	26	256	
内 容	通院送迎	19	16	18	15	12	18	17	13	20	17	19	20	204	
	その他	4	5	3	4	3	5	5	6	4	4	3	6	52	
利用時間(時間)		43.0	39.5	46.0	39.5	33.0	55.0	42.5	36.5	49.0	49.5	45.0	52.5	531.0	
走行距離(km)		401	511	535	525	395	623	463	423	609	586	586	629	6,286	

III 在宅福祉サービス事業部門

1. うきは市ケアプランサービスセンター

年間利用者数は、前年度比、要介護者△95名、要支援者+2名で、収入は△10.4%となりました。要介護者は、新規16名に対して、死亡や入院・入所が多いことが上げられます。

うきは市地域包括支援センターからの要請による要支援者の受託は、積極的に受けていますが、委託単価が低く設定されており、収入増には結びつかないのが現状です。

元々、採算が取りにくい事業ではありますが、介護保険の要の事業であり、事業が継続できるよう病院や民生委員など、関係機関・団体への働きかけを強化し、要介護者の確保を図っていきます。

□営業日：月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）

□サービス提供時間：午前8時30分～午後5時15分（但し、24時間連絡可能な体制を確保）

□職員体制：主任介護支援専門員1名、介護支援専門員3名（内、兼務職員1名）

(1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

平成27年度居宅サービス計画作成実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	83	81	74	69	73	77	75	79	77	77	77	78	920

(2) 介護予防支援事業（うきは市地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

平成27年度介護予防サービス計画作成実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	29	30	33	32	28	28	28	28	26	25	25	24	336

2. うきは市ヘルパーステーション

介護保険事業は年間利用者数、前年度比△62名（要支援は+27名）、延べ利用回数は△989回（要支援は+186回）、障害福祉サービス事業では、+23名、+184回、合わせた収入は、介護報酬の引き下げ改定の影響も大きく△10.1%となり、介護保険事業での要介護者の確保が、引き続き重大な課題となりました。介護保険の新規利用者は一定あるものの、それを上回る死亡や入院・入所が見られます。（27年度新規利用者 介護保険 要支援22名・要介護21名、障害者12名）

受託事業は、生活管理指導員派遣事業以外は、利用者がいない状況で、収入も僅かとなりました。（前年度比△21.7%）また、28年度より生活管理指導員派遣事業は、介護予防・日常生活支援総合事業へ移行されることになり、更に報酬額が下がり厳しい状況が予想されます。

しかし、採算が取りにくい部分を社協事業所は一定担っており、ケアプラン事業所をはじめ、関係機関・団体への働きかけを強め、要介護者、障害者の確保に努め、事業が継続できるようにしていきます。

□営業日：年中無休（但し、12/31・1/1を除く）

□サービス提供時間：午前7時～午後9時

□職員体制：ホームヘルパー12名（内、介護福祉士8名）

(1) 介護保険事業

①介護予防訪問介護事業：要支援認定者へのヘルパー派遣

平成27年度介護予防訪問介護事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	33	32	39	39	38	38	36	35	31	30	31	33	415
利用回数	186	192	250	263	236	226	213	189	179	159	176	200	2,469

②訪問介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

平成 27 年度訪問介護事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	25	25	20	19	23	23	23	23	24	23	22	19	269
利用回数	314	366	349	279	277	343	328	307	333	313	307	326	3,842

(2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護：障害者へのヘルパー派遣

平成 27 年度障害者居宅介護事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	23	22	24	24	22	22	22	22	23	23	23	24	274
利用回数	286	289	342	311	284	318	307	304	295	233	238	352	3,559

②同行援護：視覚障害者のガイドヘルプ

平成 27 年度障害者同行援護事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	2	15
利用回数	14	12	11	9	4	12	13	14	7	2	4	10	112

(3) 受託事業

①生活管理指導員派遣事業（市受託事業）

介護保険認定外者で、日常生活を営むのに支障がある独居高齢者等に対し、生活管理指導員を派遣し、日常生活上の援助を行い、自立した生活を可能にし、要支援・要介護状態への進行防止に努めました。

平成 27 年度生活管理指導員派遣事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	5	6	6	6	6	7	7	6	6	6	6	6	73
利用回数	18	19	18	25	19	27	24	19	21	19	22	25	256

②移動支援事業（市受託事業）

障害者の外出支援（ガイドヘルプ）

平成 27 年度障害者移動支援事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
利用回数	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3

③ひとり親家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

日常生活を営むのに支障が生じているひとり親家庭等に、家庭生活支援員を派遣して、生活を支援しました。

・利用者実人員 1 名 延べ利用回数 3 回 (H27.10 月)

3. うきは市デイサービスセンター

通所介護事業は、要支援者の利用は、前年度比、年間+ 47 名、延べ利用回数+ 368 回、要介護者の利用が、△ 4 名、△ 98 回となり、収入は介護報酬の引き下げ改定の影響を強く受けて△ 9.1%となり、大変厳しい状況となりました。認知症対応型通所介護事業についても、年間利用者数は△ 13 名、利用回数△ 19 回、収入は△ 15.8%と、こちらも大変厳しい状況となりました。要介護者の確保が重要な課題です。(27 年度新規利用者、通所介護 要支援 11 名・要介護 18 名、認知症対応型通所介護 7 名)

受託事業である通所型介護予防事業(生きがいデイ)は、前年度比、年間利用者+ 36 名、延べ利用回数+ 145 回、+ 11.5%の収入増となりましたが、介護保険事業に比べ、委託単価が低く設定されており、大幅な収入増とはなりません。

介護保険事業の訪問入浴介護事業は、前年度よりは利用者△ 4 名と減りましたが、利用回数が+ 67 回となり、

収入増とはなりませんが、元々の利用者が少なく、また併せて実施している身体障害者訪問入浴サービス事業（受託事業）は、利用者がなく、合わせた収入は、前年度比+ 22.8%となりましたが、全体の収入を押し上げるには至りませんでした。利用者の多くが、ターミナル期の方で、短期間の利用であることに加え、体調不良による中止、寝たきりの方でも、通所系サービスを選択されることが、利用者が少ない原因と考えられます。

全事業合わせた収入は、前年度比△ 7.7%となり、事業を継続していく上で、新規利用者の獲得と併せて、経営の効率化を図る必要が生じ、更に 28 年度より通所型介護予防事業は、介護予防・日常生活支援総合事業に移行され、更に報酬が低くなり、厳しい状況が見込まれる為、認知症対応型通所介護事業を、今年度をもって休止することにしました。社協事業所は、採算が取りにくい部分を一定担っていますが、事業が継続できるようにしていきます。

□営業日：介護予防通所介護、通所介護、認知症対応型通所介護

年中無休（但し、8 / 14・15、12 / 31～1 / 3 を除く）

訪問入浴介護 月曜日～土曜日（但し、12 / 30～1 / 3 を除く）

□サービス提供時間：介護予防通所介護 午前 9 時 30 分～午後 4 時

通所介護、認知症対応型通所介護

午前 9 時 15 分～午後 4 時 30 分（時間延長あり）

訪問入浴介護 午前 9 時 30 分～午後 5 時 15 分

※センター専用調理室で、昼食とおやつを提供

調理：調理員 3 名（内、兼務職員 1 名）、献立：栄養士 1 名（兼務職員）

（1）介護保険事業

①介護予防通所介護事業

要支援認定者へ運動器機能訓練、口腔機能訓練等のサービスを実施し、要介護状態とならないように努めました。

②通所介護事業

要介護認定者へ個別機能訓練、口腔機能訓練等のサービスを実施し、要介護状態の悪化防止に努めました。

□ 1 日の職員体制／職員 8 名（管理者、生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員、歯科衛生士）

※介護予防通所介護事業と一体的に実施。

③認知症対応型通所介護事業

認知症専用の施設として、日常動作訓練、レクリエーション等のサービスを実施し、進行の防止に努めました。

□ 1 日の職員体制／職員 4 名（管理者、生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員、歯科衛生士）

④介護予防訪問入浴・訪問入浴介護事業

要介護認定者の自宅を、移動入浴車で訪問し、利用者の居室にて入浴を行い、身体の清潔保持に努めました。なお、要支援認定者を対象とした介護予防訪問入浴介護は利用者がありませんでした。

□ 1 回の職員体制／看護職員 1 名、介護職員 2 名。

平成 27 年度うきは市デイサービスセンター介護保険事業実績

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防 通所介護	利用者数	35	32	33	34	34	35	34	34	34	34	33	32	404
	利用回数	236	228	230	237	222	236	253	216	220	201	223	237	2,739
通所介護	利用者数	36	36	35	32	30	32	32	36	34	34	37	38	412
	利用回数	478	471	476	419	350	398	441	438	448	412	481	504	5,316
認知症対応 型通所介護	利用者数	4	5	4	8	10	9	7	7	4	4	4	4	70
	利用回数	37	52	52	116	123	100	89	89	58	52	60	60	888

訪問入浴	利用者数	4	4	5	3	4	4	2	2	1	1	3	3	36
介護	利用回数	12	21	24	23	25	25	17	9	4	5	15	15	195

(2) 受託事業

①通所型介護予防事業（市受託事業）

介護保険の認定外者の高齢者に対し、要支援、要介護状態とならないように、サービスを提供しました。通所介護事業と併せて実施。

・利用者負担／1回 1,000円（昼食、おやつ、入浴、送迎含む）

平成27年度通所型介護予防事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	31	31	32	31	29	31	31	33	34	35	33	34	385
利用回数	120	104	119	126	93	122	115	117	124	111	108	144	1,403

②身体障害者訪問入浴サービス事業（市受託事業）

障害者の訪問入浴介護を、訪問入浴介護事業と併せて実施していますが、利用者はありませんでした。

4. 食の自立支援事業（市受託事業）

利用者の年間延べ人数は、前年度比+82名、述べ配食数は+3,339食となり、当初の配食計画数（36,900食）に近い数字となりました。新規利用者40名。要因として、一人暮らし高齢者で、調理ができない方や交通手段がなく買物に行くことができない方、退院時に一時的に調理の不安がある方の増加がみられます。

安否確認については、配食時に確認できなかった方には、置手紙を添え、帰宅したら電話を頂くようにし、電話がない場合は、何度もこちらから掛けたり、親族や関係者へ連絡を取るなどの徹底を図り、福祉委員と救急車の手配をして、大事に至らずに済んだケースや鍋焦がしを発見し、火事にならずに済んだケースがありました。また、自転車で徘徊される方や外出して戻ってこないことが良くある方、家に閉じこもりの心配な方がおられましたが、市に連絡・報告を随時することによって、安全確保の面から施設入所となったケースもありました。

調理については、利用者の状態に応じ、おかゆや刻み食にしたり、服薬等により、禁食がある方については、献立内容を一部変更したり、配食も玄関口まで出られない方は、居室まで届けたり、弁当箱を洗うことができない方や犬猫を屋内で飼っている方に対しては、衛生上の理由から使い捨ての弁当箱（利用者負担）を使用したりするなど、利用者にあった対応を取りました。献立については、食材費を抑えつつ、季節感を味わって頂く工夫をしました。

□配食日：月曜日～土曜日（但し、8/14・15、12/30～1/3を除く）昼食と夕食

□利用者負担：1食400円（但し、生活保護受給者1食300円）

□活動体制：調理 給食員3.5名

献立 栄養士（調理兼務）

配食 給食員とボランティア（34名登録、H28.3月末現在）

□配食コース：昼食4コース（内、ボランティア 月・水・金3名、火・木・土2名）

夕食6コース（内、ボランティア 月・水3名、火・木・金・土4名）

平成27年度食の自立支援事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	103	100	100	105	107	104	101	97	98	98	97	97	1,207
実施日数	26	26	26	27	24	26	27	25	25	24	25	27	308
配食数	昼食	890	877	869	980	915	968	933	899	950	780	844	10,875
	夕食	2,076	2,062	2,078	2,245	1,985	2,176	2,190	2,046	2,067	1,818	1,937	24,788
	合計	2,966	2,939	2,947	3,225	2,900	3,144	3,123	2,945	3,017	2,598	2,781	35,663

利用者区分（H28.3月末現在）

区分	一人暮らし高齢者	高齢者夫婦	障害者	その他	合計
利用者数	63名	22名	4名	8名	97名

5. ワークサポート白鳥の家

就労移行支援事業では、27年度、2名が一般企業への就職ができ、新体系移行後（平成23年10月1日～）

10名を就職させることができました。また、就職した利用者の職場定着を図るため、就職先を訪問し、相談に応じるなどの継続した支援を行い、現在も全員が就労できています。

就労継続支援事業では、生産活動における訓練や相談を通じて、日常生活の支援を行いました。また、地区福祉大会をはじめイベント等の出店により、施設や商品の周知・啓発を図ることができました。

課題として、就労移行支援事業は、一般就労に向けた職場開拓を進めていくため、より一層の地域や関係機関等への事業内容の周知が必要です。

就労継続支援事業では、販売売上アップを主軸に、生産活動の充実を図り、目標工賃達成計画に基づいた賃金向上を目指し、生活の安定と社会性の向上へと繋いでいく必要があります。

経営面では、就労移行支援事業は、前年度の就職に伴い、当初定員割れとなっていました。関係機関との連携により利用者確保に努め、年間利用者数は前年度と同数に、述べ利用回数は+20回、就労継続支援事業では、利用者数は△13名となりましたが、述べ利用回数が+64回となり、合わせた収入は、目標工賃達成加算の取得もあり、+10.2%となりました。

また、市に要望していた「旧労働会館」の無償譲渡を受け、利用者家族等の要望に応えるため、改修、改築の検討などを行い、次年度に民間助成団体の助成を申請する予定にしています。

開所日：月～金曜日（但し、国民の休日、8/15、12/29～1/3を除く）

開所時間：午前9時～午後4時

職員体制：管理者1名、サービス管理責任者1名

生活支援員1名、職業指導員兼就労支援員1名（就労移行支援事業）

生活支援員1名、職業指導員2名、商品企画員1名（就労継続支援事業B型）

(1) 就労移行支援事業

定員：6名

主な訓練、活動（作業）内容

- ・ 就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練（面接訓練、履歴書作成訓練）
- ・ 生産活動（下請け作業、名刺作成等）
- ・ 職場実習、トライアル雇用の支援（実習先、雇用先の開拓と訪問）
- ・ 求職活動支援（ハローワークへの登録）
- ・ 職場定着支援（就職した利用者の職場訪問、相談対応）

主な訓練、作業内容

訓練・作業名	訓練・作業内容
業者下請け作業	フローリング材穴埋め（平川木材工業） クリーニング品たたみ（エルスうきは工場）等
印刷作業	名刺印刷
パンの家スワンベーカーリー	喫茶ルーム接客、販売準備

職場実習実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習者数	1	1	2	1	0	2	2	0	0	0	1	1	11
実習日数	10	8	16	10	0	16	19	0	0	0	12	5	96

実習受入事業所

（株）エルスうきは工場、（株）平川木材工業、にじ農業協同組合にじの耳納の里、
にじ農業協同組合園芸流通センター、ファームうきは

成果：就労者2名（累計10名）

(2) 就労継続支援事業B型

定員：15名

主な訓練、活動（作業）内容

- ・日常生活に必要な知識、能力を向上させるための訓練（生活習慣、清潔保持）
- ・就労の機会の提供及び生産活動
- ・生活相談

主な訓練、作業内容

訓練・作業名	訓練・作業内容
アルミ回収作業	ボランティアの方と一緒に回収、市民の方の提供品整理
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、小物作り
スワンショップ	日用雑貨品の販売…(株)飛鳥産業、地域の方からの寄付物品を整理し販売
パンの家スワンベーカリー	パンの製造販売、喫茶ルーム接客
喫茶あひるの子	コーヒー・パンの販売、接客

□工賃実績：1人当たりの月額平均工賃 27,965 円 ※県指定計算による
(平成 26 年度福岡県工賃平均額 月 13,392 円)

(3) ワークサポート白鳥の家の主な行事

期 日	行 事 内 容
H27.4.13	あいの会食事会
5.1	メーデー用パン 300 個、お茶 150 本納品
5.11	避難訓練
5.28	自転車安全講習会
6.22	26 年度収支報告会
7.17・18	一泊研修旅行(大分)
8.3	健康診断
8.28	家族会情報交換会
9.27	妹川地区福祉大会出店
10.4	御幸地区福祉大会出店
10.7	赤い羽根共同募金街頭募金活動
11.1	休日マーケット
11.8	山春地区福祉大会出店
11.15	大石地区福祉大会出店
11.30	避難訓練
12.6	うきは市人権フェスティバル出店
12.7	あいの会食事会
12.21	収支報告会
12.25	仲間交流会
H28.1.15	健康診断

(4) 平成 27 年度ワークサポート白鳥の家事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労 利用者数	3	3	4	3	3	3	3	3	2	6	6	6	45
移行 利用回数	65	56	88	69	53	62	64	38	38	83	116	129	861
就労 利用者数	20	20	18	18	16	17	18	18	19	17	17	17	215
継続 利用回数	334	281	314	329	247	292	331	308	300	254	286	324	3,600

6. 制度外サービス

(1) 暮らし安心サービス(うきは市ヘルパーステーション)

利用者や家族、介護支援専門員等の要望を受けて、介護保険並びに障害福祉サービス事業でのヘルパ

一では対象とならない、通院時の院内介助等の身体介護や入院時の買物などの生活援助サービスを提供し、在宅生活の継続支援を行いました。

□利用者負担／1回当たり

時間	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間半未満	1時間半以上 (30分増す毎に)
身体介護	1,000円	2,000円	3,000円	1,000円
生活援助	800円	1,600円	2,400円	800円

平成27年度実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1	4	4	5	5	5	5	4	4	6	5	7	55
利用回数	2	12	13	17	16	15	24	14	12	14	16	15	170

※実利用者数12名

(2) あったか宅配サービス(市役所西別館給食室)

利用者、市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが、中止となった方や申込みをしたが、該当しなかった方で、食の確保が必要と認められた方に、月曜日から土曜日、昼食と夕食を配食しました。

□利用者負担／1食500円

平成27年度実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	9	8	7	7	9	11	11	13	13	14	14	13	129
配食数	197	194	177	180	170	172	226	286	291	298	297	315	2,803

※実利用者数21名

7. 関係機関との連携・連絡調整

(1) うきはブロック介護サービス事業連絡会

市内を実施地域としている介護サービス事業所で組織された連絡会に加入し、事業所間の情報交換、研修会等に参加し、職員の資質向上に努めました。

なお、26年度から、連絡会の事務局を社協が担当することになり、会議や事業の連絡調整等の役割を果たし、市との共催で創立10周年記念事業「うきはブロック介護セミナー」を2月10日に開催することができました。

また、25年度より実施している「高齢者徘徊模擬訓練」においては、地区自治協議会の協力を得て、7地区を拠点に行うことができました。

(2) 障害者就業・生活支援センター「ぼるて」との連携

障害者就労移行支援事業については、障害者就業・生活支援センター「ぼるて」との連携により、ぼるて登録後、本人の希望・支援者(専門職)から見た適応性を考慮し、利用者にあった職場の開拓を協力して行いました。また、就労後の定着支援として、生活面を含め、就職先や関係機関との連携を取り、継続的な支援を行いました。

(3) 浮羽医師会・社協の連携強化を進める勉強会

今後、益々重要となる「医療と福祉・介護」の連携のあり方を、事務局レベルで3回の勉強会を行いました。勉強会では、お互いの組織・事業内容の確認、勉強会の進め方、連携強化事項についてなどを話し合い、地域包括ケアシステムの構築に向けて、連携してできることを、検討していくことになりました。

IV その他

1. 実習・見学受入状況

(1) ワークサポート白鳥の家

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
朝倉記念病院デイナイトケア	12	小郡特別支援学校教諭	7	東峰学園中等部	6
うきは市議会厚生文教常任委員	10	福富地区自治協議会	15	田主丸特別支援学校中等部	2
御幸小学校2年生	25	大野城市南コミュニティ福祉会	14	小郡特別支援学校高等部	1
エフコープ生活協同組合	4	ふれあいセンター小塩	17	計 11 団体 113 名	

(2) 通所介護事業（うきは市デイサービスセンター）

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
浮羽中学校2年生	2	社協評議員	12	山春地区民生委員	6
九州大谷短期大学	2	計 4 団体 22 名			

(3) 訪問介護事業（うきは市ヘルパーステーション）

団体・組織	人数	団体・組織	人数
九州大谷短期大学	2	福岡県介護福祉士会	17
		計 2 団体 19 名	

(4) 視察受入（地域福祉課）

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
吉井清流学級	12	春日市民生委員児童委員協議会	28	宮崎県高鍋町民生委員児童委員協議会	40
小郡市民生委員児童委員協議会	20	佐賀県自立相談支援センター	4	茨城県社会福祉協議会	1
八女市社会福祉協議会	8	島原市社会福祉協議会	18	筑後市下妻校区福祉会	25
大分市民生委員児童委員協議会	18	久留米市役所就労準備担当者	4	大牟田校区社会福祉協議会	22
日田市役所社会福祉課	3	玉名市ボランティア連絡協議会	30	計 14 団体 233 名	

V 平成27年度寄付者名簿

一般会計

(香典返し寄付)

香典返し寄付金 合計 345件 9,430,815円

(一般寄付)

一般寄付金 合計 72件 680,136円

(物品寄付)

物品寄付 合計 2件 1,191,613円
